Dell™ Axim™ X3

ユーザーズガイド

モデル HC02U

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

メモ：デバイスを使用する上で知っておくと便利な情報が記載されています。

注意：ハードウェアの破損またはデータを損失する可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も記載されています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語については、129 ページの「用語集」を参照してください

モデル HC02U

2004 年 2 月　P/N W1526　Rev.A01

目次

4 設定の調整

5 Microsoft® ActiveSync® の使い方

6 スケジュールおよび通信

7　プログラムの追加と削除

8　付属プログラムの使い方

11 付録

⚠ 警告：安全にお使いいただくために

デバイスを安全にお使いいただくため、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、デバイスと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

一般的な注意

- 訓練を受けたサービス技術者でない限り、ご自分でデバイスの修理をなさらないでください。取り付けの手順には必ず厳密に従ってください。
- AC アダプタに延長電源ケーブルをつないで使用する場合、延長電源ケーブルに接続されている製品の定格電流の合計が延長ケーブルの定格電流を超えないことを確認してください。
- デバイスの開口部に物を入れないでください。デバイス内部でショートが起こり、火災の原因になったり、感電する恐れがあります。
- 暖房器具や熱源の近くにデバイスを置かないでください。デバイスの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にデバイスを置かないでください。
- AC アダプタをデバイスの駆動またはバッテリーの充電に使用するときは、机の上や床の上など換気の良い所に AC アダプタを置いてください。冷却の妨げになるので、紙や他のものを AC アダプタにかぶせないでください。また、キャリーケースに入れたまま AC アダプタを使用しないでください。

警告：安全にお使いいただくために（続き）

- AC アダプタは通常のデバイスの動作中でも熱くなることがあります。AC アダプタの使用中、または使用した直後は、取り扱いにご注意ください。
- お風呂場や流し、プールの近く、または地下室などのような湿気の多い所でデバイスを使用しないでください。
- お使いのデバイスに内蔵またはオプションのモデムが搭載されている場合、電話線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、激しい雷雨時にはモデムケーブルを外してください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。すべてのケーブルを外して、バッテリー電源でデバイスを駆動する場合を除き、雷雨時にはデバイスを使用しないでください。
- デバイスにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で、FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- カードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後にカードを取り外す際は、ご注意ください。
- デバイスをクリーニングする前に、デバイスのプラグをコンセントから抜きます。デバイスのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

電源

- このデバイスでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こす恐れがあります。
- デバイスをコンセントに接続する前に AC アダプタの定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- デバイスをすべての電源から取り外すには、デバイスの電源を切り、AC アダプタをコンセントから外してから、バッテリーパックを取り外してください。
- 感電を防ぐため、AC アダプタおよびデバイスの電源ケーブルは、正しい方法でアースされているコンセントに差し込んでください。これらの電源ケーブルには、アース接続用に三芯プラグが使用されていることがあります。アダプタプラグを使用したり、アース用の芯を電源ケーブルのプラグから取り外さないでください。延長電源ケーブルを使用する場合、二芯または三芯の適切な種類を使用して、AC アダプタ電源ケーブルに接続してください。
- AC アダプタの電源ケーブルの上に物を置かないでください。引っかかったり踏まれる可能性のある所にケーブルを置かないでください。複数の差し込み口のある電源タップを使用している場合、AC アダプタの電源ケーブルを電源タップに差し込む際は注意してください。電源タップの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または発火の危険があるだけでなく、デバイスに永続的な損傷を与える恐れがあります。電源プラグのアース芯が、電源タップのアース接続端子に差し込まれていることを確認してください。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

バッテリー

- このデバイスでの使用を認められた Dell™ バッテリーモジュールのみを使用してください。別の種類を使用すると、発火または爆発の危険性が増す場合があります。
- 車の鍵、クリップなどの金属製品でバッテリーの端子がショートする恐れがあるので、バッテリーパックをポケット、ハンドバッグ、またはその他の入れ物に入れて持ち歩かないでください。ショートすると過度の電流が流れて高温が発生し、バッテリーパックの損傷、または発火ややけどをする恐れがあります。
- バッテリーを正しく取り扱わないと、やけどをする恐れがあります。バッテリーを分解しないでください。破損または液漏れしているバッテリーパックは、十分注意して取り扱ってください。バッテリーが破損している場合、電池から電解液が漏れていることがあり、けがをする恐れがあります。
- バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- デバイスまたはバッテリーパックを、ラジエータ、暖炉、ストーブ、電気ヒーター、またはその他の発熱する電気機器等の熱源の側に保管したり、放置したり、あるいは気温が 60℃ を超える場所に置かないでください。過度の高温になると、バッテリー電池が破裂したり、穴が開いたり、発火する恐れがあります。
- デバイスのバッテリーを焼却したり、家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。バッテリーが破裂する恐れがあります。使用済みバッテリーの廃棄に関しては、16 ページの「バッテリーの廃棄」を参照してください。

航空機の利用

- 飛行機内では、Dell デバイスを使用する際に連邦航空局の一定の規制および航空会社固有の制限が適用されることがあります。たとえば、そうした規制や制限により、無線周波数またはその他の電磁信号を意図的に送信する機能のある PED（個人用電子機器）の機内での使用が禁止されている場合があります。
  - こうした制限のすべてに適切に従うため、お使いの Dell ポータブルデバイスに Dell TrueMobile™ またはその他の無線通信デバイスが搭載されている場合、飛行機に搭乗する前にこれらのデバイスを無効にし、航空会社職員からのそのデバイスに関するすべての指示に従ってください。
  - さらに、離着陸など飛行中の特定の重要な段階においては、ポータブルデバイスなどの PED の使用が禁止されている場合があります。航空会社によっては、重要な飛行段階として飛行機の高度が 3,050 m（10,000 ft）以下の時と具体的に定義していることがあります。PED を使用できる時期については、航空会社の指示に従ってください。

EMC 指令

シールド付き信号ケーブルの使用により、目的の環境に適用される EMC（電磁的両立性）分類基準を満たすことができます。

- 静電気は、デバイス内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのデバイスの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

デバイスへの損傷を防ぐため、次の注意事項を守ってください。

- デバイスのセットアップをおこなうときは、平らで水平な面にデバイスを置きます。
- X 線探知機にデバイスを通してもかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。係官がデバイスを検査する場合、デバイスの電源を入れるように指示することがありますので、充電済みのバッテリーパックをご用意ください。
- 泥、ほこり、食べ物、液体、高温、長時間の直射日光などにデバイスやバッテリー、ハードドライブをさらさないでください。
- 温度や湿度が極端に異なる環境にデバイスを移動すると、デバイス表面や内部に結露が発生することがあります。デバイスへの損傷を防ぐため、湿気がなくなるまで時間をおいてからデバイスをお使いください。

注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにデバイスを移動する場合、しばらく室温に慣らしてからデバイスの電源を入れてください。

- ケーブルを抜くときは、ケーブル自体ではなくコネクタやストレインリリーフループを持って抜いてください。コネクタを引き抜くときは、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐ引いてください。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐ向き合っていることを確認してください。
- 部品は丁寧に取り扱ってください。

⚠ 警告：安全にお使いいただくために（続き）

- ディスプレイは、柔らかい清潔な布と水でクリーニングしてください。水を布に浸し、ディスプレイの上から下へ一方向に布で拭いてください。ディスプレイから湿気をすばやく取り除いて、乾燥させます。長時間湿気にさらすとディスプレイを損傷する恐れがあります。市販の窓用クリーナーを使って、ディスプレイをクリーニングしないでください。

快適な使い方

⚠ **警告：無理な姿勢で長時間デバイスを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。**

⚠ **警告：ディスプレイを長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。**

静電気障害への対処

静電気は、デバイス内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、デバイスの電子部品に触れる前に、身体の静電気を逃がしてください。塗装されていない金属面に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、ESD（静電気放出）による損傷を防ぐため、次の手順を実行することをお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合、デバイスに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止梱包材を開梱する直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
- 静電気に敏感な部品を持ち運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

警告: 安全にお使いいただくために（続き）

バッテリーの廃棄

お使いのデバイスには、リチウムイオンバッテリーと、充電式 NiMH バッテリーを使用します。デバイスのバッテリーの交換方法については、23 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話：044-556-3481）へお問い合わせください。

Li-ion

役に立つ情報を探す

何をお探しですか？	こちらをご覧ください。
デバイスのセットアップ方法と、デバイスのコネクタとボタンについての情報	セットアップ図、および Dell™『ユーザーズガイド』
デバイスの使い方	Dell『ユーザーズガイド』および Pocket PC ヘルプ ヘルプを表示するには、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。
デバイスにインストールできる追加プログラムについて	『Dell コンパニオン CD』
デバイスにあるプログラムの使い方	Pocket PC ヘルプ、および利用可能な場合、プログラムから **ヘルプ** をタップします。
コンピュータとの接続および同期化の方法	Dell『ユーザーズガイド』およびコンピュータ上の Microsoft® ActiveSync® ヘルプ。ヘルプを表示するには、**ヘルプ** をクリックして、**Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。
最新アップデート情報および詳細技術情報	コンピュータと『Dell コンパニオン CD』の **ActiveSync** フォルダにある readme ファイル
Pocket PC についての最新情報	**www.microsoft.com/japan/mobile/pocketpc**
サービスタグ	バッテリースロットにあるラベル（バッテリーを外します）

1

第 1 章

お使いのデバイスについて

正面図、側面図、および背面図

バッテリーの使い方

コンピュータへの接続

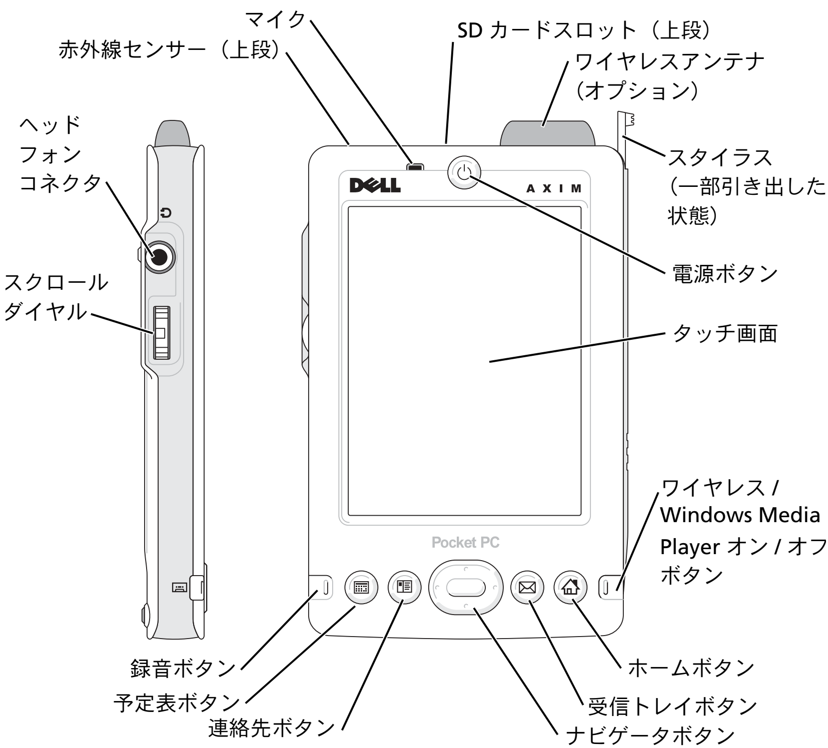
SD（Secure Digital）メモリカードの使い方

デバイスのリセット

正面図、側面図、および背面図

⚠ 警告：この項の手順を実行する前に、9 ページの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

正面図および側面図



赤外線センサー — 赤外線センサーを使って、ケーブルで接続せずにお使いのデバイスから別の赤外線互換デバイスにファイルを転送できます。

マイク — 音声を録音することができます。

SD カードスロット — SD メモリカードの使い方については、30 ページの 「SD(Secure Digital)メモリカードの使い方」 を参照してください。

ワイヤレスアンテナ — データ通信をすることができます(オプション)。

スタイラス — スタイラスを使って画面に文字や絵を描くことができます。スタイラスを取り外すには、まっすぐに引き上げてホルダから取り出します。スタイラスを紛失しないよう、スタイラスを使わないときはホルダに入れておきます。スロットに入れなおす際は、スタイラスの向きが正しいことを確認します。

電源ボタン — 電源ボタンを押してデバイスの電源をオンまたはオフにします。ディスプレイを暗くするには電源ボタンを長く押します。ディスプレイを明るくするには、再度長く押します。

- デバイスが外部電源に接続され、メインバッテリーが十分に充電されている場合、電源ボタンライトは緑色に点灯します。
- メインバッテリーの充電が少なくなると、電源ボタンライトは橙色に点滅します。
- デバイスが通知を中継する際は、電源ボタンライトは緑色に速く点滅します。

タッチ画面 — タッチ画面とスタイラスを使って、デバイスに情報を入力します。45 ページの 「情報の入力」 を参照してください。

ワイヤレス / MICROSOFT® WINDOWS® MEDIA PLAYER オン / オフボタン — ワイヤレスデバイスで、ワイヤレスアンテナをオンまたはオフにします。アンテナをオフにすると節電することができます。非ワイヤレスデバイスでは、Windows Media Player をオンまたはオフにします。

ホームボタン — ホームが起動したり、デバイスの電源が入ります。

受信トレイボタン — 受信トレイを開いたり、デバイスの電源が入ります。

ナビゲータボタン — ナビゲータボタンの上下左右を押すと、画面上のカーソルが動きます。選択を決定する場合は中央を押します。

連絡先ボタン — 連絡先が起動したり、デバイスの電源が入ります。

予定表ボタン — 予定表が起動したり、デバイスの電源が入ります。

録音ボタン — 録音ボタンの使い方については、53 ページの 「メッセージの録音」 を参照してください。

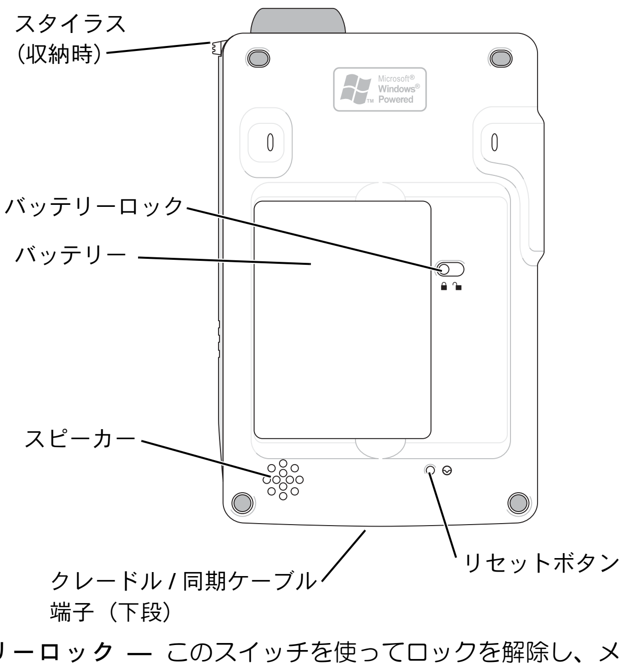
スクロールダイヤル

- スクロールダイヤルを押すと、キーボードの <Enter> を押したときと同様の操作を実行します。
- スクロールダイヤルを上下に回すと、キーボードの上下矢印と同様の操作を実行します。

プログラム内でのスクロールダイヤルの機能については、お使いのデバイスの Pocket PC ヘルプを参照してください。

ヘッドフォンコネクタ — ヘッドフォンを接続します。

背面図



バッテリーロック — このスイッチを使ってロックを解除し、メインバッテリーを取り外します。23 ページの 「バッテリーの取り付けと取り外し」を参照してください。

バッテリー — メインバッテリーの詳細については、23 ページの 「バッテリーの使い方」を参照してください。

スピーカー — スピーカーアイコンをタップして音量を調節します。

クレードル / 同期ケーブル端子 — クレードルまたは同期ケーブルを接続します。25 ページの 「コンピュータへの接続」 を参照してください。

リセットボタン — リセットボタンの使い方については、31 ページの「デバイスのリセット」 を参照してください。

バッテリーの使い方

注意：必ず 4 時間以上メインバッテリーを充電してから、デバイスを使用してください。

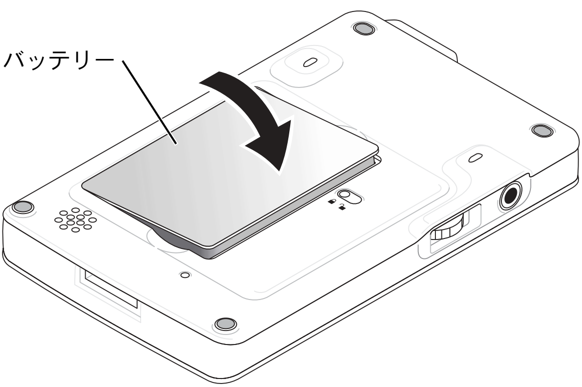
デバイスを初めてお使いになる前に、バッテリーを取り付けて充電する必要があります。バッテリーを充電したら、電源のプロパティを使って、バッテリーの充電状態を確認することができます。詳細については、デバイスにある Pocket PC ヘルプを参照してください。

バッテリーの取り付けと取り外し

バッテリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

1 デバイスの電源が切れているか確認します。

2 バッテリーの左側をバッテリースロットに斜めに挿入し、カチッと収まるまで右側をスロット内に下ろします。

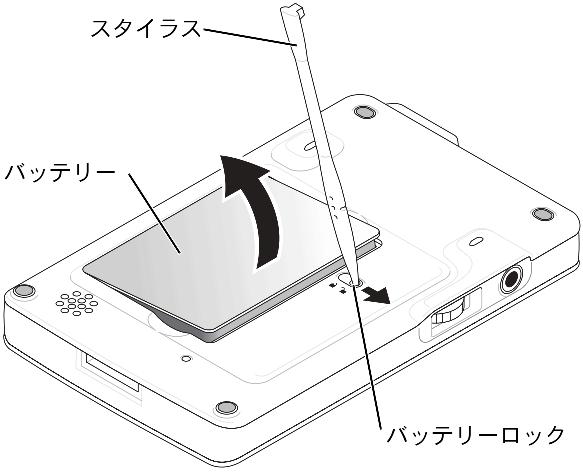


バッテリーを取り外すには、次の手順を実行します。

1 スタイラスの先端をバッテリーロックに差し込みます。

2 ロックをスライドさせ、ロック解除位置まで動かします。

3 バッテリーを持ち上げて、スロットから取り出します。



メモ：サービスタグはバッテリーの下にあります。デルサポート **support.jp.dell.com** へのアクセス、デルカスタマサービスまたはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、サービスタグが必要です。

バッテリーの充電

メインバッテリーを充電するには、以下の方法のうちの 1 つを実行します。

- AC アダプタを直接充電アダプタに接続してから、デバイスに接続して、コンセントに接続します。
- AC アダプタを直接同期ケーブルに接続してから、デバイスに接続して、コンセントに接続します。
- AC アダプタをクレードルに接続して、デバイスをクレードルに取り付けます。詳細については、26 ページの 「クレードルの使い方」を参照してください。

コンピュータへの接続

デバイスをコンピュータに接続するには、クレードルを使用するか、または同期ケーブルを使って直接接続します。デバイスをコンピュータに接続すると、以下を実行することができます。

- デバイスへのプログラムの追加。詳細については、84 ページの「Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加」を参照してください。
- コンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化

データの同期化については、以下を参照してください。

- 59 ページの「Microsoft® ActiveSync® の使い方」
- コンピュータの ActiveSync ヘルプ
- デバイスの ActiveSync ヘルプ

クレードルの使い方

メモ：デバイスの構成によっては、クレードルはオプションになります。

クレードルを使って、以下のことができます。

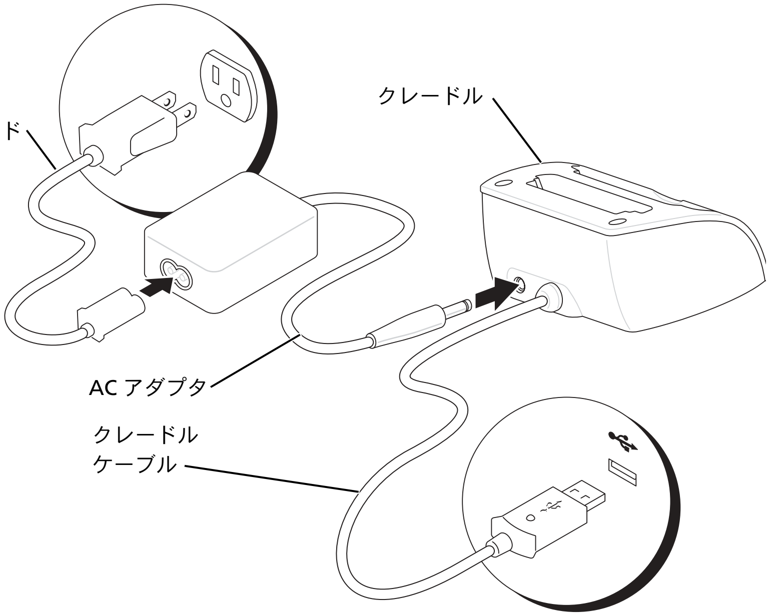
- コンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化
- バッテリー電源を節約するためのデバイスの AC 電源での使用
- メインバッテリーの充電。詳細については、23 ページ の「バッテリーの使い方」を参照してください。
- 予備バッテリーの充電

メモ：デバイスをコンピュータに初めて接続する前に、『Dell™ コンパニオン CD』からコンピュータに ActiveSync をインストールしているか確認してください。

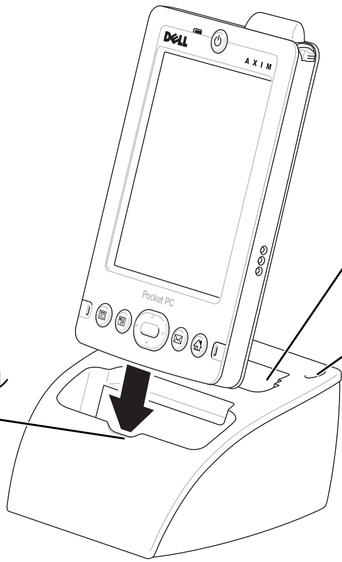
デバイスをクレードルに接続するには、次の手順を実行します。

1 コンピュータの近くの平らな場所に、クレードルを置きます。

2 クレードルケーブルをコンピュータの USB コネクタに接続します。


電源
コード
クレードル
AC アダプタ
クレードル
ケーブル
コンピュータへの
USB 接続

3 AC アダプタをクレードルに接続して、コンセントに接続します。



4 デバイスの底面にあるコネクタとクレードルのコネクタの位置を合わせ、デバイスの正面をクレードルの正面と揃えたまま、デバイスをクレードルに下ろします。

デバイスがクレードルに接続（ドッキング）されると、クレードルの DELL™ のロゴが点灯し、接続ステータスアイコンがコマンドバーに表示されます（35 ページ参照）。

クレードルの予備バッテリーのステータスライトは、以下のように動作します。

- 緑色 — 予備バッテリーは、完全に充電されています。
- 橙色 — 予備バッテリーは、充電中です。

メモ：デバイスの電源ボタンは、メインバッテリーの充電状況を示します。詳細については、21 ページのデバイスステータスライトの説明を参照してください。

クレードルからデバイスを取り外すには、クレードルからデバイスをまっすぐに引き上げます。

同期ケーブルの使い方

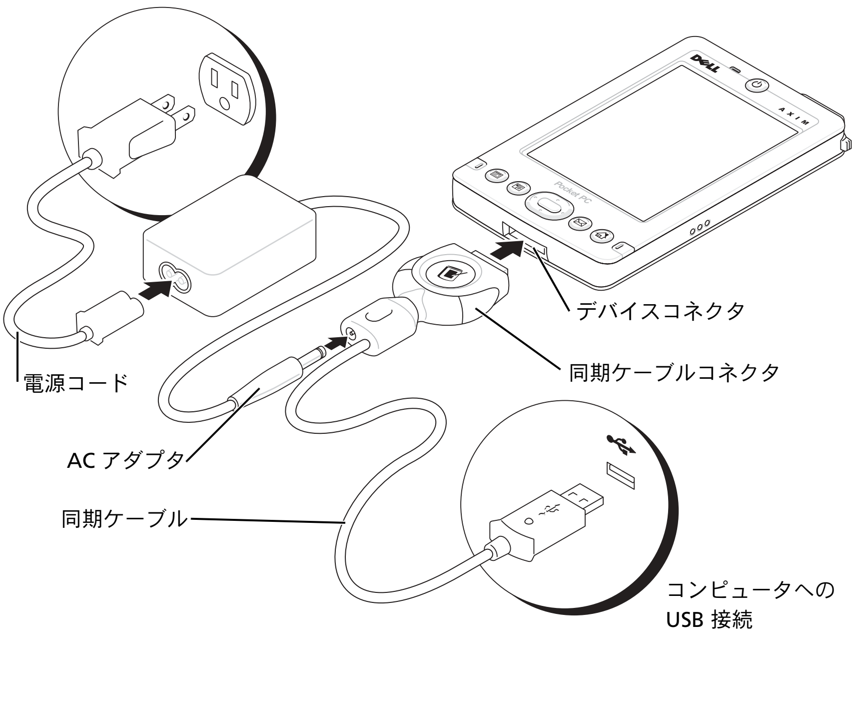
同期ケーブルを使って、クレードルを使用せずにデバイスをコンピュータに直接接続できます。

メモ：デバイスの構成によっては、同期ケーブルはオプションになります。

同期ケーブルを接続するには、次の手順を実行します。

1 ケーブルの片方をコンピュータの USB コネクタに接続します。

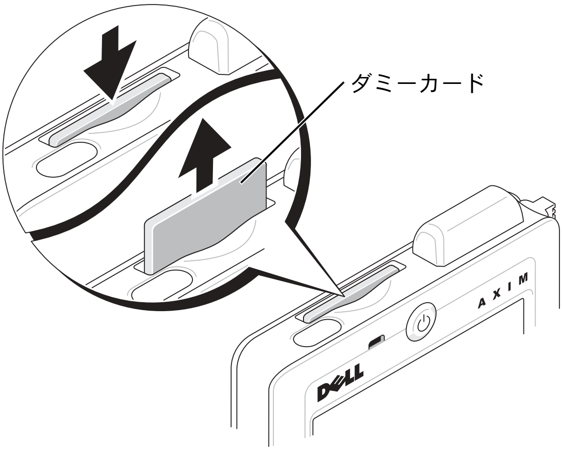
2 ケーブルのもう片方をデバイスに接続します。



SD（Secure Digital）メモリカードの使い方

SD メモリカードを使って、データの保存またはバックアップができます。

SD メモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。



1 カードが既に取り付けられている場合、カードを押し込んでカードを取り外してから取り出します。

2 カードの取り付け方向が正しいか確認して、カチッと収まるまでスロットに押し込みます。

注意：カードを無理に押し込まないでください。抵抗を感じる場合は、カードを取り出し、挿入方向を確認して、再度取り付けます。

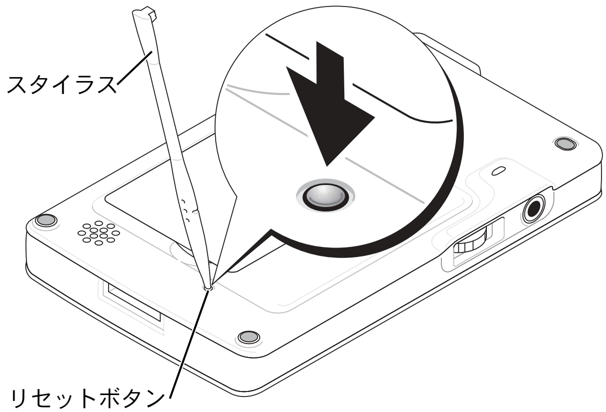
カードの使い方については、カードに付属のマニュアルを参照してください。

デバイスのリセット

ソフトリセット

ソフトリセットを実行すると、メモリにあるデータは保存されますが、それ以外の保存されていないデータは消去されます。ディスプレイをタップしたり、ボタンを押してもデバイスが応答しない場合、ソフトリセットを実行します。

ソフトリセットを実行するには、スタイラスを使ってリセットボタンを押します。



ハードリセット

注意：ハードリセットを実行すると、デバイス上のデータとインストール済みのプログラムはすべて消去されます。

ハードリセットは、以下の場合に実行します。

- デバイスに保存されたデータをすべて削除する場合
- パスワードを忘れて、現在設定されているパスワードを消去する場合
- デバイスの動作に重大な不具合があり、ソフトリセットを既に試している場合

注意：ハードリセットを実行する前に、データをバックアップするよう強くお勧めします。詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

ハードリセットを実行するには、次の手順を実行します。

1. 電源ボタンを押し続けます。
2. スタイラスを使って、リセットボタンを約 2 秒間押します。
3. 画面の指示に従います。

2

第 2 章

Microsoft®
Pocket PC の使い方

デバイスボタンおよびスタイラス

Today 画面

ステータスアイコン

プログラム

ナビゲーションバーおよびコマンドバー

ポップアップメニュー

データの検索と整理

データのバックアップ

デバイスボタンおよびスタイラス

デバイスには、動作やスクロール機能を制御するハードウェアボタンと、項目を選択したりデータを入力するのに使うスタイラスがあります。

デバイスでは、マウスの代わりにスタイラスを使います。

- タップ — 項目を呼び出したりオプションを選ぶには、スタイラスで画面を 1 回軽くたたきます。
- ドラッグ — スタイラスをホールドしたまま、画面上でドラッグしてテキストや画像を選択します。一覧で複数の項目を選択するときも、ドラッグします。
- タップ＆ホールド — スタイラスを項目の上で軽くたたいてホールドし、その項目で利用可能なオプションの一覧を表示します。表示されたポップアップメニュー内で、実行するオプションをタップします。

詳細については、45 ページの「情報の入力」を参照してください。

Today 画面

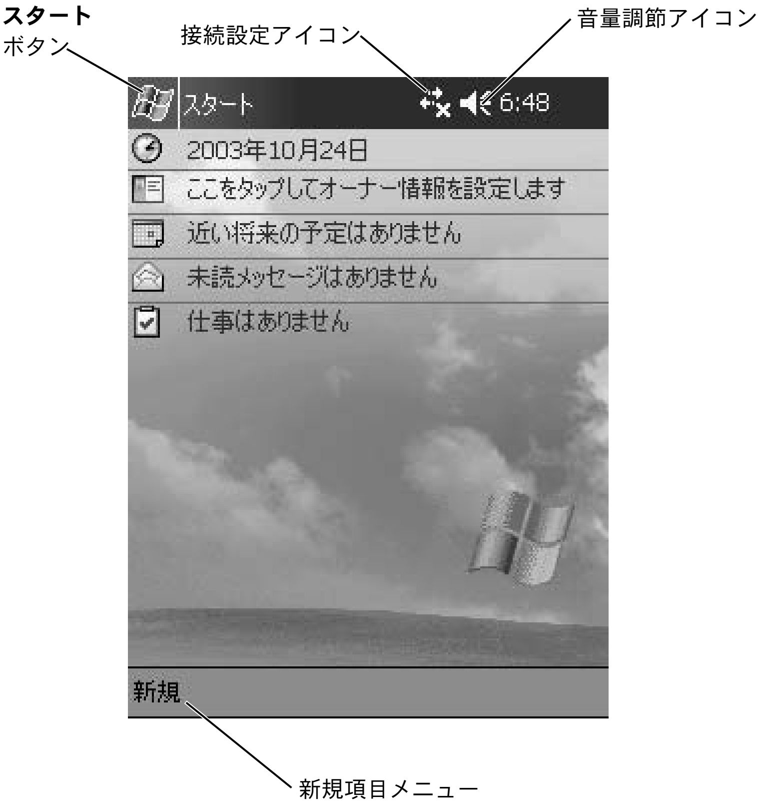
その日に初めて（または、デバイスが非アクティブになってから 4 時間後に）デバイスの電源を入れると、**Today** 画面が表示されます。**スタート** ボタンをタップし、**Today** をタップして、**Today** 画面を表示することもできます。**Today** 画面には、日付、オーナー情報、今日のスケジュール、および仕事が表示されます。**Today** 画面をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **個人用** タブをタップして、**Today** をタップします。

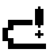
Today 画面に表示される壁紙を変更するには、**デザイン** タブを使います。

Today 画面に表示される項目を変更するには **アイテム** タブを使います。



ステータスアイコン

メモ：通知アイコンのうち表示されていないものがある場合、の通知アイコンが表示されます。この通知アイコンをタップするとすべての通知が表示されます。

アイコン	説明
	サウンドをオンまたはオフにします。
	バックアップバッテリーの充電レベルが低くなっています。
	メインバッテリーが充電中です。
	メインバッテリーの充電レベルが低くなっています。
	メインバッテリーの充電がほとんど残っていません。
	メインバッテリーは完全に充電されています。
	接続がアクティブです。接続を設定するには、アイコンをタップします。
	接続が検出されません。
	ワイヤレスネットワークが検出されました。
	同期化が開始しました、またはまもなく終了します。

アイコン	説明
	同期化中です。
	新着インスタントメッセージがあります。
	新着 E メールメッセージがあります。

プログラム

スタート メニューからプログラムを選んで、別のプログラムに切り替えることができます。**スタート** メニューの一覧に表示されていないプログラムにアクセスするには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラム名をタップします。

メモ：いくつかのプログラムには、チェックボックスやドロップダウンメニュー用の省略名があります。正式名を表示するには、省略名の上でスタイラスをタップ＆ホールドします。コマンドが実行されないよう、名前の外にスタイラスをドラッグしてください。

プログラムボタン

プログラムボタンを押して、いくつかのプログラムに切り替えることもできます。デバイスの正面には、4 つのプログラムボタンがあります。切り替えるプログラムは、ボタン上にアイコンで示されています。デフォルトで、ボタンは、ホーム、受信トレイ、連絡先、および予定表を起動します。

切り替えバー

切り替えバーを使って、プログラムを切り替えたり、閉じることもできます。切り替えバーを起動するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **システム** タブをタップして、**切り替え** をタップします。

切り替えバーアイコン  がナビゲーションバーに表示されます。

実行中のすべてのプログラムを表示するには、 をタップします。

切り替え メニューで、以下を実行することができます。

- **輝度設定** または **電源設定** をタップして、輝度の設定および電源設定を調整します。
- プログラム名をタップして、別のプログラムに切り替えます。
- **現在のプログラムを終了** をタップして、現在のプログラムを終了します。
- **すべてのプログラムを終了** をタップして、実行中のプログラムをすべて終了します。
- **切り替えバーを終了** をタップして、メニューを閉じます。

以下の表に、お使いのデバイスにあるプログラムの一部を示します。デバイスにインストールできる追加プログラムについては、『Dell™ コンパニオン CD』を参照してください。

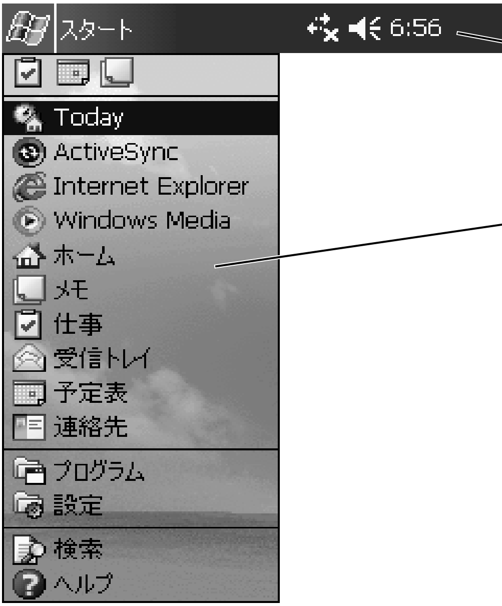
アイコン	プログラム	説明
	ActiveSync	デバイスとコンピュータ間のデータを同期します。
	予定表	予定を記録したり、会議のリクエストを作成します。
	連絡先	友人や同僚のデータを記録します。
	受信トレイ	E メールメッセージの送受信をおこないます。
	Pocket Internet Explorer	ウェブサイトや WAP サイトの閲覧、およびインターネットからの新しいプログラムやファイルのダウンロードをおこないます。
	メモ	手書きまたはタイプしたメモの作成、描画、または録音をおこないます。
	仕事	仕事を記録します。

アイコン	プログラム	説明
	Pocket Excel	新しいワークブックの作成またはコンピュータで作成した Excel ワークブックの表示や編集をおこないます。
	MSN Messenger	MSN Messenger に保存されている連絡先とインスタントメッセージを送受信します。
	Pocket Word	新しい文書の作成およびコンピュータで作成した Word 文書の表示や編集をおこないます。

ナビゲーションバーおよびコマンドバー

ナビゲーションバーは、画面の上部にあり、実行中のプログラムおよび現在の時刻を表示します。また、このバーを使って、別のプログラムに切り替えたり、画面を閉じることができます。

画面の下部のコマンドバーを使って、プログラム内で仕事を実行します。コマンドバーにはメニュー名、アイコン、および入力パネルアイコンがあります。現在のプログラムで新規アイテムを作成するには、**新規** をタップします。アイコン名を表示するには、アイコン上でスタイラスをタップ＆ホールドします。コマンドが実行されないよう、アイコンの外にスタイラスをドラッグします。



ナビゲーションバー

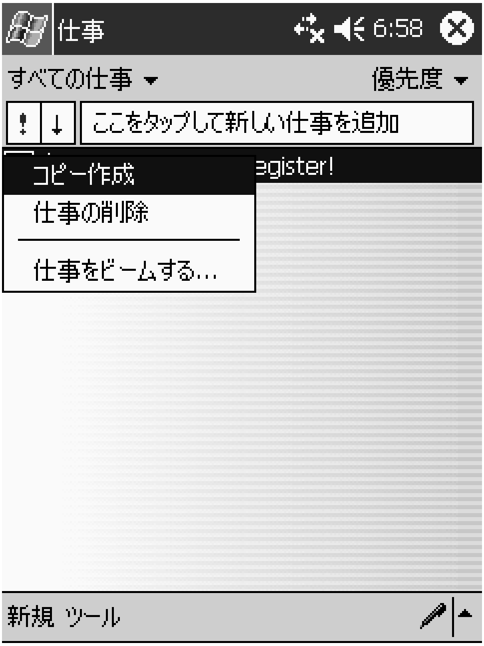
スタートメニュー



コマンドバー

ポップアップメニュー

ポップアップメニューを使うと、項目の操作を簡単に選ぶことができます。たとえば、連絡先一覧内でポップアップメニューを使って、連絡先の削除やコピー、または連絡先に E メールメッセージを送信できます。ポップアップメニューでの動作は、プログラムによって異なります。ポップアップメニューにアクセスするには、項目名の上でスタイラスをタップ&ホールドします。メニューが表示されたら、スタイラスを離し、実行する操作をタップします。操作を実行せずにメニューを閉じるには、メニューの外でタップします。

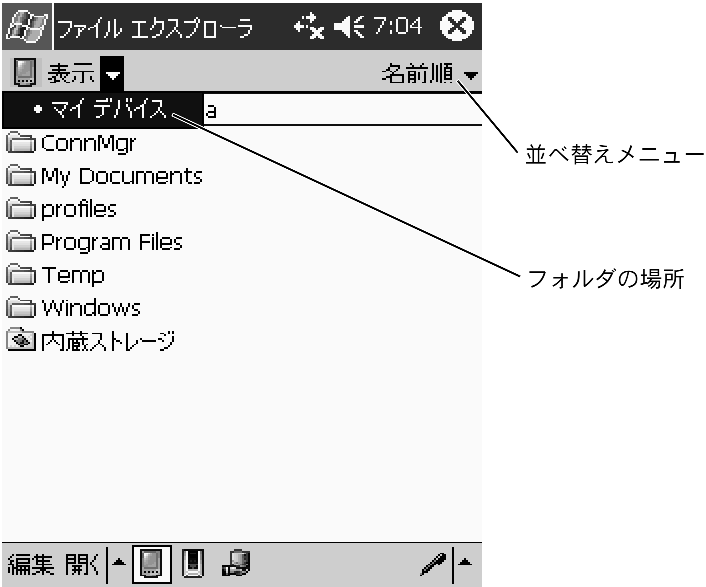


データの検索と整理

デバイスの検索機能で、データを簡単に見つけることができます。

スタート メニューで、**検索** をタップします。検索する項目を入力し、ドロップダウンメニューからデータタイプを選んでから、**開始** をタップして検索を開始します。

ファイルエクスプローラを使って、デバイス上のファイルを検索したり、ファイルをフォルダに整理することもできます。**スタート** メニューで **プログラム** をタップして、**ファイル エクスプローラ** をタップします。



データのバックアップ

データの損失を防ぐため、またはデータの損失を最小限にするため、デバイス上のデータは定期的にバックアップしてください。コンピュータ上のファイルとデバイス上のファイルを同期するには、ActiveSync を使います。Windows エクスプローラを使って、デバイスとコンピュータ間でファイルをドラッグ＆ドロップすることもできます。詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

3

第 3 章

情報の入力

入力パネルを使った文字の入力

画面での手書き入力

画面での描画入力

メッセージの録音

マイテキストの使い方

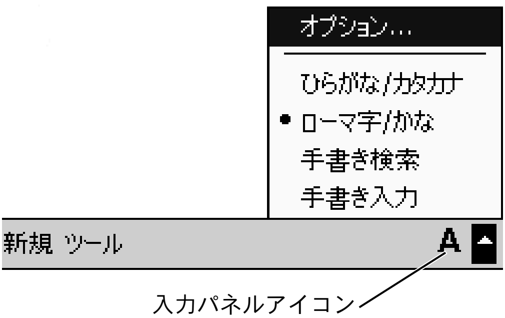
データ入力には、以下の方法があります。

- ソフトキーボードまたは他の入力方法を使って、タイプした文字を入力パネルに入力する
- スタイラスを使って、画面に直接文字を書いて入力する
- スタイラスを使って、画面に直接絵を描いて入力する
- デバイスのマイクに発話して、メッセージを録音する

Microsoft® ActiveSync® を使って、コンピュータからデバイスにデータを同期化したり、データをコピーします。ActiveSync の詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

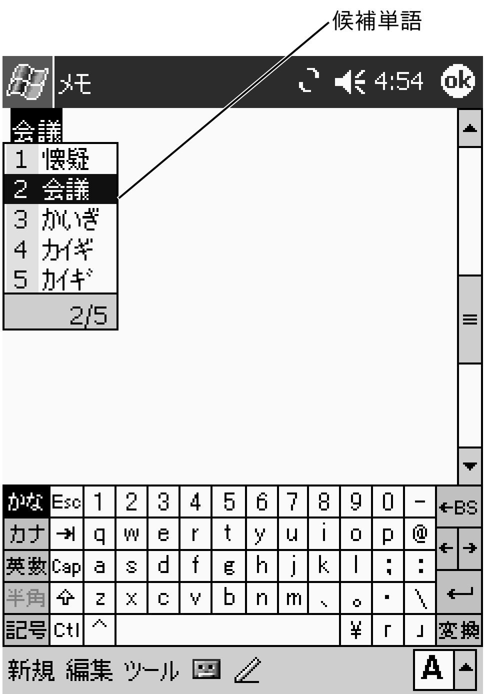
入力パネルを使った文字の入力

入力パネルを使って、デバイス上のどのプログラムでも情報の入力ができます。ソフトキーでタイプするか、手書き検索、または手書き入力を使って文字を入力します。入力した文字は、タイプされた文字として画面に表示されます。



入力パネルの表示 / 非表示を切り替えるには、入力パネルアイコンをタップします。入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、入力方法を変更します。

入力パネルを使う際、デバイスはタイプ中または入力中の単語を予測して、入力パネルの上に表示します。表示された単語をタップすると、単語が挿入位置に挿入されます。デバイスは、使用するほど学習するので、予測する単語が増えます。



表示する単語数を変更するなど、候補単語オプションを変更するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2 **個人用** タブをタップし、**入力** をタップして、**入力方法** タブをタップします。
3 希望の設定を選んで、**OK** をタップします。

ソフトキーボードを使用したタイプ

1 入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、**ひらがな / カタカナ** または **ローマ字 / かな** をタップします。
2 スタイラスで、ソフトキーボード上のキーをタップします。

タイプされた文字の編集

タイプされた文字を編集、またはフォーマットするには、まず文字を選びます。

1 選択する文字をスタイラスでドラッグします。
2 選択した文字をタップ&ホールドします。
3 ポップアップメニューの適切な編集コマンドをタップします。

   画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。

画面での手書き入力

メモプログラムやプログラムの中の **メモ** タブなど、手書きで文字が入力できるプログラムでは、スタイラスで画面に文字を直接手書きで入力できます。手書きで入力したものを後で編集したり、フォーマットしたり、あるいは情報をテキストに変換できます。

メモ：手書き入力が可能なプログラムでも、ペンアイコンがないものがあります。手書き入力モードへの切り替え方法については、プログラムに付属のマニュアルを参照してください。

画面に手書きで入力するには、ペンアイコンをタップして手書き入力モードに切り替えます。この操作で、書きやすいように画面にラインが表示されます。



手書き入力文字の編集

手書き入力文字を編集、またはフォーマットするには、まず文字を選びます。手書き入力文字を編集するには、次の手順を実行します。

1. ペンアイコンをタップして、選択を解除します。
2. 選択する文字をスタイラスでドラッグします。
3. 選択した文字をタップ＆ホールドします。
4. ポップアップメニューで該当する編集コマンドをタップします。

   画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。
5. ペンアイコンをタップして、手書き入力モードに戻ります。

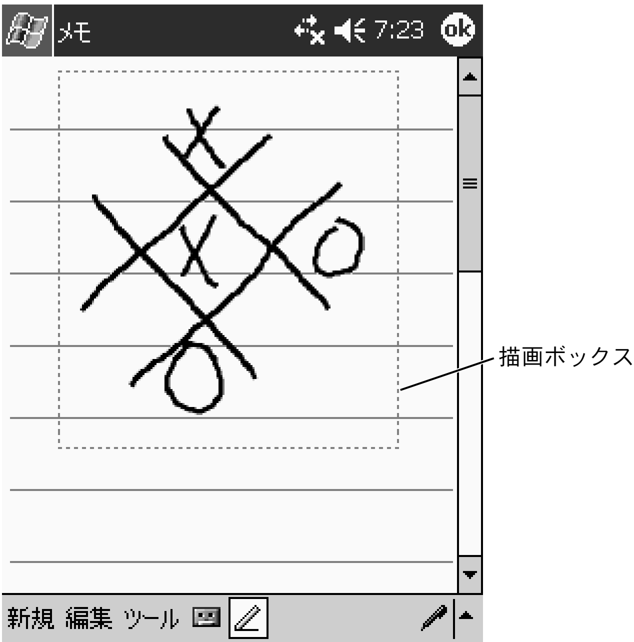
画面での描画入力

画面上で文字を手書きで入力するのと同様に、画面上に絵を描くことができます。ただし、絵を選択したり修正する方法は、手書き入力文字の選択方法や修正方法とは異なります。たとえば、絵を選択して大きさを変えることはできますが、手書き入力文字ではできません。

絵の作成

メモ：絵を拡大または縮小して表示するには、**ツール** をタップしてズーム倍率をタップします。

まず 3 本の罫線に線を入れます。描画ボックスが表示されます。次に描かれた線や、描画ボックス内の線は絵の一部になります。罫線に線を入れない場合、絵は手書き入力文字として扱われます。



絵の編集

絵を編集、またはフォーマットするには、まず絵を選びます。絵を編集するには、次の手順を実行します。

1 選択ハンドルが表示されるまで、絵の上でスタイラスをタップ＆ホールドします。

複数の絵を選択するには、ペンアイコンの選択を解除してドラッグします。

2 選択した絵をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの編集コマンドをタップします。

3 選択した絵をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューで編集コマンドをタップすると、選択した絵の切り取り、コピー、および貼り付けができます。

画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。

絵の大きさを変更するには、ペンアイコンが選択されていないことを確認して、選択ハンドルをドラッグします。

メッセージの録音

画面に手書きで文字入力ができたり、絵が描けるプログラムでは、メッセージを録音して考えをすばやくまとめたり、メモや電話番号を記録することもできます。予定表、仕事、および連絡先で、**メモ** タブに録音を加えることができます。メモプログラムでは、音声のみを録音したり、手書きメモに録音を加えることができます。メモに録音を加える場合、まずメモを開きます。受信トレイプログラムでは、E メールメッセージに録音を付加できます。

メッセージを録音するには、次の手順を実行します。

1. マイクを口または音源に近づけて持ちます。
2. ビープ音が聞こえるまで、デバイスの側面にある録音ボタンを押します。
3. 録音ボタンを押し続けて、録音します。
4. 録音を停止するには、録音ボタンを離します。

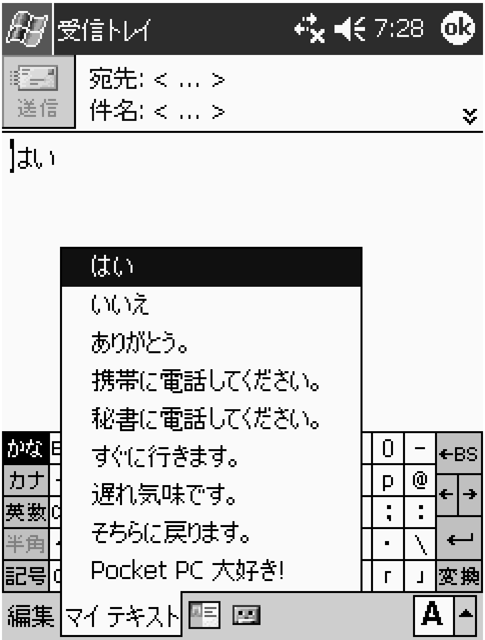
   デバイスからビープ音が 2 回聞こえます。新規録音がメモ一覧に、または組み込みアイコンとして表示されます。

メモ：録音ツールバーにある録音アイコンをタップして録音することもできます。

録音を再生するには、一覧で録音名をタップするか、メモ内のスピーカーアイコンをタップします。

マイテキストの使い方

受信トレイまたは MSN Messenger をお使いの場合、よく使う定型文をマイテキストを使って簡単に挿入できます。定型文を挿入するには、**マイ テキスト** をタップして定型文をタップします。



メモ：定型文を挿入した後で、マイテキストメッセージに文字を追加できます。

マイテキストメッセージを編集するには、次の手順を実行します。

1. 受信トレイまたは MSN Messenger で、**ツール** をタップします。
2. **マイテキストメッセージの編集** をタップします。
3. 変更を加えて、**OK** をタップします。

4

第 4 章

設定の調整

個人用タブ

システムタブ

接続タブ

デバイスの設定は、お好みに合わせて調整することができます。利用可能なオプションを表示するには、**スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

メモ：お使いのデバイスの機能によっては、別のタブが表示されたり、タブに別の項目が表示されることがあります。

設定の調整方法については、お使いのデバイスの Pocket PC ヘルプを参照してください（**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします）。

個人用タブ

- **ボタン** — ハードウェアボタンを押すと起動するプログラムを設定します。
- **入力** — 入力方法、単語予測、その他のオプション設定を調整します。
- **メニュー** — **スタート** メニューに項目を追加したり、削除します。
- **オーナー情報** — お客様の連絡先等を入力します。
- **パスワード** — お使いのデバイスに保存されているデータを保護するため、パスワードを設定します。
- **音と通知** — 音量の調節および通知を設定します。詳細については、82 ページの「通知」を参照してください。
- **Today** — Today 画面に表示される情報の内容と外観をカスタマイズします。

システムタブ

- **バージョン情報** — Microsoft® Pocket PC およびお使いのデバイスについての情報を検索します。
- **輝度** — 輝度設定を調整して、節電します。
- **証明書**— お使いのデバイスに保存されている証明書を表示したり、削除します。証明書を使うと、ユーザーと他のコンピュータを識別して、データへの不正なアクセスを防ぐことができます。
- **時計** — 時刻の変更またはアラームを設定します。
- **マイク** — マイクの増幅率を調節します。
- **電源** — バッテリーまたは充電状況を確認します。デバイスがアイドル状態の際の電源が切れるまでの時間を設定します。
- **地域** — 通貨や日時などの地域設定の表示と設定の変更をおこないます。
- **プログラムの削除** — デバイスからプログラムを削除します。詳細については、83 ページの「プログラムの追加と削除」を参照してください。
- **画面** — タップしてもデバイスが正しく応答しない場合、画面を調整します。
- **切り替え** — 切り替えプログラム起動ユーティリティの設定を調整します。
- **システム情報** — デバイスの技術情報を表示します。

接続タブ

- **ビーム** — 他のデバイスからの赤外線通信を受信します。
- **Bluetooth** — Bluetooth™ 無線をオンまたはオフにしたり、結合デバイスの作成や編集をおこないます。デフォルトで、Bluetooth 無線はオフになっています。
- **接続** — モデムまたはサーバー接続を追加したり、設定します。
- **ネットワークアダプタ** — ネットワークアダプタを設定します。

5

第 5 章

Microsoft® ActiveSync® の使い方

ActiveSync について

ActiveSync のインストールと使い方

ActiveSync について

ActiveSync を使うと、コンピュータ上のデータとデバイス上のデータを同期化できます。同期化では、デバイス上のデータとコンピュータ上のデータを比較して、両方が最新のデータになるようアップデートします。たとえば、以下のことを実行することができます。

- お使いのデバイス上の Microsoft Pocket Outlook のデータを、コンピュータ上の Microsoft Outlook のデータと同期化して、最新に保ちます。
- お使いのデバイスとコンピュータ間で、Microsoft Word および Microsoft Excel ファイルを同期化します。ファイルは、自動的に正しい形式に変換されます。

メモ：デフォルトで、ActiveSync はすべてのタイプのデータを自動的に同期化しません。ActiveSync のオプションを変更して、特定のタイプのデータを同期化することができます。

ActiveSync を使って、以下のことを実行することもできます。

- デバイス上のデータのバックアップと復元
- お使いのデバイスとコンピュータ間のファイルのコピー（同期化ではなく）
- 同期化モードを選択して、同期化をいつ実行するかの設定。たとえば、継続的に同期化するか、同期化コマンドを選んだ時のみ同期化するかを選ぶことができます。
- 同期化する情報のタイプの選択と、同期化する情報量の制御。たとえば、過去の予定を何週間分同期化するかを選ぶことができます。

データを同期化するには、Microsoft Windows® および ActiveSync の Pocket PC バージョンの両方が必要です。『Dell™ コンパニオン CD』を使って、お使いのコンピュータに ActiveSync の Windows バージョンをインストールする必要があります。Pocket PC バージョンは、お使いのデバイスにインストールされています。

メモ：デバイスをコンピュータに初めて接続する前に、『Dell™ コンパニオン CD』からコンピュータに ActiveSync をインストールしているか確認してください。

ActiveSync のインストールと使い方

ActiveSync をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 『Dell コンパニオン CD』を挿入します。
2. 黄色の三角形をクリックして、メインメニューにアクセスします。
3. **スタートページ** をクリックします。
4. **ActiveSync のインストール** をクリックして、画面の指示に従います。

インストールの完了後、ActiveSync Setup Wizard を使って、デバイスとコンピュータの接続、デバイスとコンピュータ間でデータを同期化できるようなパートナーシップの設定、および同期化設定のカスタマイズを実行できます。ウィザードの完了後、最初の同期化処理が自動的に開始します。

最初の同期化中に、コンピュータの Outlook に保存されている情報がデバイスの予定表、連絡先、および仕事にコピーされます。

ActiveSync のセットアップが終わり、最初の同期化処理が完了したら、デバイスから同期化を開始することができます。デバイスの ActiveSync に切り替えるには、**スタート** ボタンをタップして、**ActiveSync** をタップします。ワイヤレス LAN カードをお使いの場合、デバイスからリモートで同期化できます。

デバイスの ActiveSync の使い方を参照するには、デバイスの ActiveSync を開き、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

コンピュータの ActiveSync の使い方を参照するには、コンピュータの ActiveSync を開き、**ヘルプ** → **Microsoft ActiveSync ヘルプ** とクリックします。

6

第 6 章

スケジュールおよび通信

Microsoft® Pocket Outlook について

予定表

連絡先

仕事

メモ

受信トレイ

通知

Microsoft® Pocket Outlook について

Pocket Outlook には、予定表、連絡先、仕事、受信トレイ、メモが含まれています。これらのプログラムは個別に、または一緒に使用することができます。たとえば、連絡先に保存されている E メールアドレスは、受信トレイ内の E メールメッセージのアドレスに利用できます。

Microsoft ActiveSync® を使うと、コンピュータの Microsoft Outlook または Microsoft Exchange の情報をデバイスと同期化できます。この情報は、Exchange サーバーと直接同期化することもできます。同期化を実行するたびに、ActiveSync はデバイスとコンピュータまたはサーバー上でおこなった変更を比較し、両方のコンピュータを最新のデータにアップデートします。ActiveSync の使い方については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

スタート メニューから、次のプログラムに切り替えることができます。

予定表

予定表を使って、会議や他のイベントなどの予定を作成します。件名、日単位、週単位、月単位、年単位などの表示画面のうちの 1 つで予定を確認することができ、表示メニューを使って表示画面を簡単に切り替えることができます。Today アイコンをタップすると、今日の日付が表示されます。



メモ：週の最初の曜日を変更するなど、予定表をカスタマイズするには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

予定を作成するには、次の手順を実行します。

1 日単位または週単位表示で、予定を作成する日時をタップします。
2 **新規** をタップします。
3 フィールドをタップして選択し、入力パネルを使って説明と場所を入力します。
4 必要に応じて、日時をタップして変更します。
5 利用可能なすべてのフィールドを表示するには、入力パネルアイコンをタップして、入力パネルを非表示にします。必要に応じて、残りの情報を入力します。
6 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。

   文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細については、73 ページの「メモ」を参照してください。
7 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

アラームの通知を受け取るには、アラームの設定で **通知** を選びます。音と通知アイコンで通知を設定します。詳細については、82 ページの「通知」を参照してください。

概要画面の使い方

予定表で予定をタップすると、概要画面が表示されます。予定を変更するには、**編集** をタップします。

会議のリクエストの作成

予定表を使って、Outlook または Pocket Outlook のユーザーとの会議を設定することができます。会議リクエストは、受信トレイを同期化したり、メールサーバーに接続すると自動的に作成されます。会議リクエストの送信方法を設定するには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。ActiveSync で E メールメッセージを送受信する場合、**ActiveSync** を選びます。

会議をスケジュールするには、次の手順を実行します。

1 予定を作成します。

2 **予定** タブで、入力パネルをタップして非表示にしてから、**出席者** をタップします。

   出席者 フィールドに、連絡先に保存されている E メールアドレスが一覧表示されます。

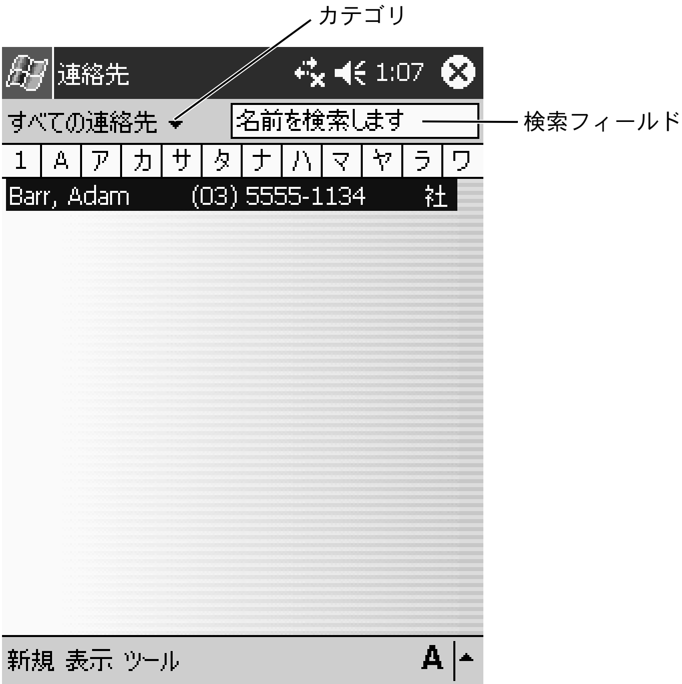
3 会議の出席者を選びます。

   会議通知が自動的に作成され、**送信トレイ** フォルダに保存されます。

会議リクエストの送受信については、**スタート** ボタンをタップし、**ヘルプ** をタップして、**予定表** または **受信トレイ** をタップします。

連絡先

連絡先を使って、友人や同僚の一覧を管理します。赤外線ポートを使って、他のデバイスのユーザーと連絡先情報を簡単に共有できます。



メモ：一覧の表示方法を変えるには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

連絡先を作成するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをタップして、**連絡先** をタップします。
2. **新規** をタップします。
3. 入力パネルを使って、名前および他の連絡先情報を入力します。下にスクロールして、利用可能なフィールドをすべて表示します。
4. 連絡先をカテゴリに割り当てるには、**分類項目** をタップして、一覧からカテゴリを選びます。

   連絡先一覧で、カテゴリ別に連絡先を表示できます。

5. メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細については、73 ページの「メモ」を参照してください。
6. 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

連絡先の検索

以下の方法のうちの 1 つを利用して、連絡先を検索することができます。

- 連絡先で、ナビゲーションバーのフィールドに連絡先名を入力します。すべての連絡先を表示するには、ボックスからテキストを消去するか、ボックスの右側にある矢印をタップします。
- 連絡先で、カテゴリ一覧（デフォルトで、**すべての連絡先** と名前が付いています）をタップして、カテゴリを選びます。すべての連絡先を再度表示するには、**すべての連絡先** をタップします。カテゴリに割り当てられていない連絡先を表示するには、**分類項目なし** を選びます。
- 連絡先に登録されている人の勤務先を表示するには、連絡先一覧で **表示** をタップして、**会社順** をタップします。その会社に勤めている連絡先の数が会社名の右側に表示されます。
- **スタート** ボタンをタップし、**検索** をタップしてから、連絡先名を入力します。**種類** ドロップダウンメニューで、**連絡先** をタップして、**開始** をタップします。

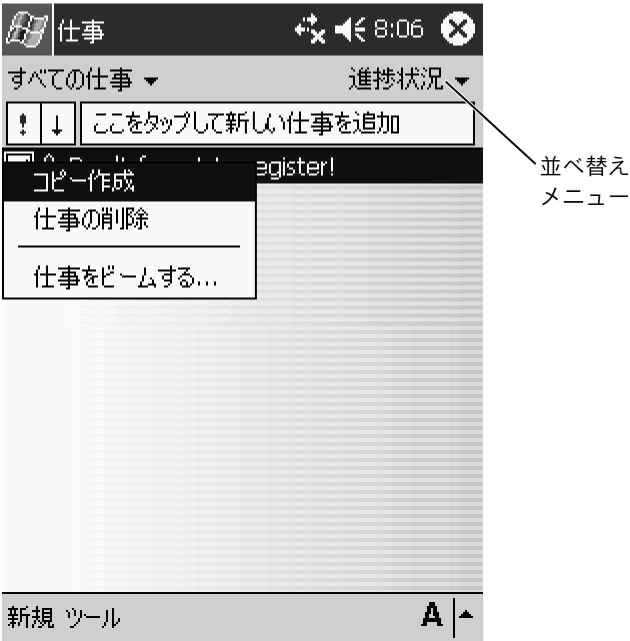
概要画面の使い方

連絡先一覧の連絡先をタップすると、概要画面が表示されます。連絡先情報を変更するには、**編集** をタップします。

仕事

メモ：一覧の情報の表示方法を変更するには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

仕事を使って、仕事の一覧を維持できます。



仕事を作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**仕事** をタップします。

2 **新規** をタップします。

3 入力パネルを使って説明を入力します。

4 必要に応じて、フィールドをタップして、開始日と締切日やその他の情報を入力します。すべての利用可能なフィールドを表示するには、入力パネルアイコンをタップして非表示にします。

5 仕事をカテゴリに割り当てるには、**分類項目** をタップして一覧からカテゴリを選びます。仕事一覧で、カテゴリ別に仕事を表示することができます。

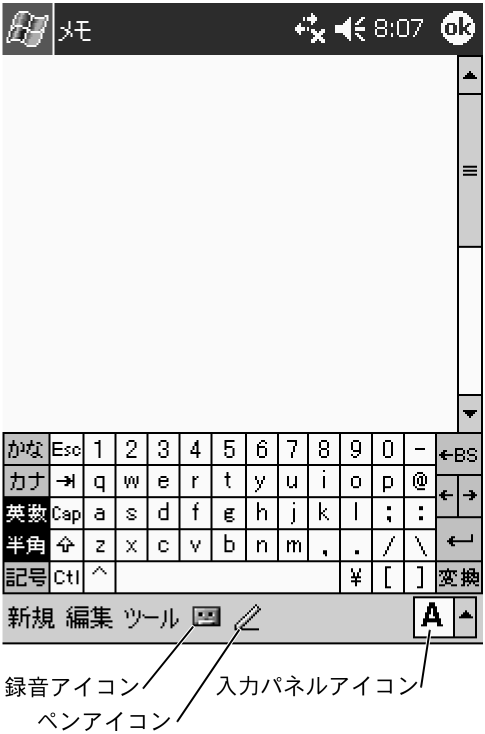
6 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細については、73 ページの「メモ」を参照してください。

7 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

メモ：簡単に仕事の件名のみを作成するには、**ツール** をタップして、**入力バー** をタップします。**ここをタップして新しい仕事を追加** をタップして、仕事情報を入力します。

メモ

メモを利用して、考えをすばやくまとめたり、メモ、絵、および電話番号を記録することができます。手書きのメモを作成したり、録音することができます。メモに録音を加えることもできます。録音する際にメモが開いている場合、録音はアイコンとしてメモに加えられます。メモが開いていない場合、独立した録音として保存されます。



メモを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** メニューをタップして、**メモ** をタップします。
2 **新規** をタップします。
3 手書き入力、描画、タイプ、録音などでメモを作成します。入力パネルの使い方、画面での手書き入力や描画、および録音については、45 ページの「情報の入力」を参照してください。

受信トレイ

受信トレイを使って、E メールメッセージを送受信します。

- コンピュータの Exchange または Outlook を使って、E メールメッセージを同期化します。
- ISP またはネットワーク経由でメールサーバーと直接接続して、E メールメッセージを送受信します。

E メールメッセージの同期化

ActiveSync で受信トレイの同期化を有効にした場合、他のデータと一緒に E メールメッセージを同期化できます。受信トレイの同期化を有効にする方法については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

メモ：リモートでのコンピュータとの E メールメッセージの同期化も可能です。詳細については、105 ページの「様々な接続」を参照してください。

同期化の処理中は、以下のことが実行されます。

- コンピュータの Exchange または Outlook の E メールフォルダから、デバイスの受信トレイにある **ActiveSync** フォルダにメッセージがコピーされます。デフォルトで、以下のものが受信されます。
  - 3 日前からのメッセージ
  - 各メッセージの最初の 100 行
  - 100 KB 未満の添付ファイル
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内の E メールメッセージは、コンピュータの Exchange または Outlook に転送されてから、これらのプログラムから送信されます。
- コンピュータのサブフォルダ内の E メールメッセージを転送するには、ActiveSync 内でメッセージを選択する必要があります。

メールサーバーに直接接続する

コンピュータとの E メールメッセージの同期化に加え、デバイスに接続されているモデムやネットワークカードを使って、メールサーバーに接続して E メールメッセージを送受信できます。ネットワークまたは ISP へのリモート接続およびメールサーバーへの接続をセットアップする必要があります。詳細については、105 ページの「様々な接続」を参照してください。

メールサーバーに接続すると、以下のことが実行されます。

- 新着メッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダにダウンロードされます。
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内のメッセージは送信されます。
- メールサーバーから削除されたメッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダから削除されます。

メールサーバーから直接受信したメッセージは、コンピュータではなくメールサーバーにリンクされます。ActiveSync の設定によっては、デバイスからメッセージを削除すると、次回メールサーバーに接続する際にメールサーバーからも削除されます。

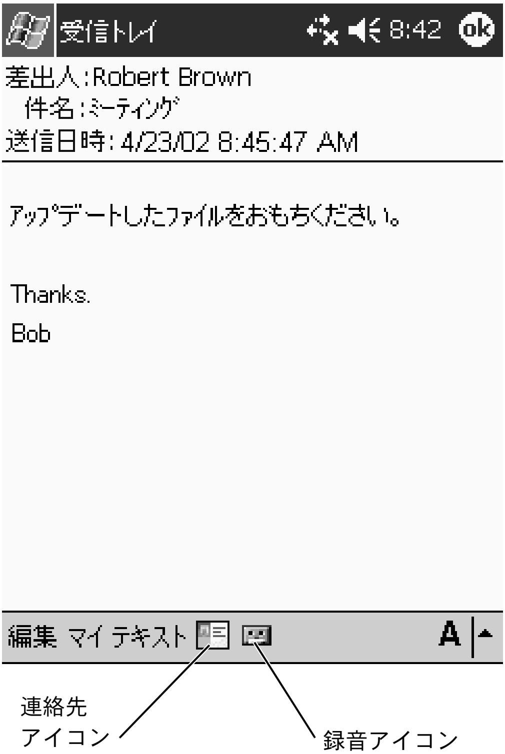
オンラインで作業をする際、メールサーバーに接続した状態で E メールメッセージを読んだり返信します。**送信** をタップするとただちにメッセージが送信されますので、デバイスの容量が節約されます。

新着メッセージのヘッダーやメッセージの一部をダウンロードした後、メールサーバーの接続を解除してから、どのメッセージを完全にダウンロードするか決めることができます。次回接続する際に、受信するよう選択したメッセージを受信トレイがダウンロードし、作成したメッセージを送信します。

メッセージ一覧の使い方

受信したメッセージがメッセージ一覧に表示されます。デフォルトで、受信したメッセージが新しいものから順に一覧に表示されます。

メッセージを受信したら、タップして開きます。未読メッセージは、太字で表示されます。



メールサーバーに接続するか、コンピュータとの同期化をおこなうと、デフォルトで以下のものを受信します。

- 5 日前からのメッセージ
- 各新着メッセージの最初の 100 行目
- 100 KB 未満の添付ファイル

元のメッセージは、メールサーバーやコンピュータに残ります。次回の同期化中またはメールサーバーとの接続中に、メッセージ全体を受信するメッセージにマークを付けます。メッセージ一覧で、受信するメッセージをタップ＆ホールドします。ポップアップメニューで、**ダウンロードするアイテムとしてマーク** をタップします。受信トレイメッセージ一覧のアイコンがメッセージステータスを示します。

サービスをセットアップする際、または同期化のオプションを設定する際に、ダウンロードのオプションを設定します。設定はいつでも変更できます。

- ActiveSync オプションを使って、受信トレイの同期化のオプションを変更します。詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。
- デバイスの受信トレイで、メールサーバーに直接接続するオプションを変更します。**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。**アカウント** タブで、変更するサービスをタップします。サービスをタップ＆ホールドして **削除** を選択し、サービスを削除します。

メッセージの作成

メッセージを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**受信トレイ** をタップします。

2 **新規** をタップします。



3 **宛先** フィールドで、1 つまたは複数のメールの宛先を入力します。宛先はセミコロンで区切ります。または、連絡先一覧で連絡先アイコンをタップして、名前を選びます。

メモ：連絡先で、E メールフィールドに入力されているすべてのメールアドレスが、アドレス帳に表示されます。

4 メッセージを作成します。メッセージの定型文を入力するには、**マイ テキスト** をタップしてメッセージを選びます。

5 メッセージを作成したら、**送信** をタップします。

オフラインで作業している場合、メッセージは **送信トレイ** フォルダに移動され、次回に接続する際に送信されます。

E メールメッセージおよびフォルダの管理

デフォルトで、作成した各サービスに対して、メッセージは次の 5 つのフォルダ（**受信トレイ**、**削除済みアイテム**、**下書き**、**送信トレイ**、または **送信済みアイテム**）のうちの 1 つに表示されます。**削除済みアイテム** フォルダには、デバイスで削除されたメッセージが含まれます。**削除済みアイテム** および **送信済みアイテム** フォルダの動作は、選択したオプションによって異なります。オプションを変更するには、メッセージ一覧の **ツール** をタップして、**オプション** をタップします。**メッセージ** タブでオプションを選びます。

新規フォルダを作成するには、**ツール** をタップして、**フォルダの管理** をタップします。メッセージを別のフォルダに移動するには、メッセージ一覧のメッセージをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **フォルダへ移動** をタップします。

メールサーバー直接接続時のフォルダの動作

作成したフォルダの動作は、ActiveSync、POP3、または IMAP4 のどれを使用しているかによって異なります。

- ActiveSync をお使いの場合、Outlook の **受信トレイ** フォルダ内の E メールメッセージは、デバイスと自動的に同期化されます。フォルダを選んで、ActiveSync 用に別のフォルダを同期化することもできます。作成したフォルダおよび移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。たとえば、**受信トレイ** フォルダから **家族** という名前のフォルダにメッセージを移動し、**家族** を同期化するよう設定した場合、サーバーは **家族** フォルダのコピーを作成して、そのフォルダにメッセージをコピーします。これにより、お使いのコンピュータからではなくてもメッセージを読むことができます。

- POP3 をお使いで、作成したフォルダに E メールメッセージを移動した場合、デバイス上のメッセージとメールサーバー上のメッセージのコピー間のリンクが壊れます。次回接続時に、メールサーバーはデバイスの受信トレイにメッセージがないことを検出して、サーバーから削除します。これにより、メッセージの重複を防ぎます。ただし、作成したフォルダに移動したメッセージには、デバイス以外からはアクセスできなくなります。

- IMAP4 をお使いの場合、作成したフォルダと移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。これにより、デバイスまたはコンピュータからメールサーバーに接続すると、いつでもメッセージを読むことができます。このフォルダの同期化は、サーバーに接続したり、接続中に新規フォルダを作成したり、フォルダの名前の変更またはフォルダを削除すると実行されます。

通知

デバイスを設定して、予定のある日時を忘れないように通知を受け取ることができます。たとえば、予定表に予定を設定したり、仕事に締切日のある仕事を設定したり、時計でアラームを設定した場合、次の方法のうちの 1 つで通知を受け取ります。

- 画面にメッセージボックスが表示されます。
- 音が鳴ります（音は指定できます）。
- デバイスのライトが点滅します。

通知およびデバイスのサウンドを設定するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **個人用** タブで、**音と通知** をタップします。

  - **音量** タブ — 音量を調節して、サウンドを有効にします。
  - **通知** タブ — 特定のイベントの通知を設定します。

7

第 7 章

プログラムの追加と削除

Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加

インターネットからのプログラムのダウンロード

プログラムをスタートメニューに追加するには

プログラムの削除

デバイスにプリインストールされているプログラムは、ご購入時にROM に保存されています。これらのプログラムは削除できず、誤って ROM の内容を消去することはありません。ROM プログラムは、拡張子 ***.xip** の付いたインストールプログラムを使って、アップデートすることができます。ROM または RAM のどちらにもデータを保存することができます。

デバイスのメモリに必要な空き容量がある場合、お使いのデバイス用に作成されたプログラムをインストールすることができます。Microsoft Pocket PC ウェブサイト **www.microsoft.com/japan/mobile/pocketpc/** に、お使いのデバイス用の様々なソフトウェアがあります。

Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加

お使いのデバイスにソフトウェアをインストールする前に、デバイスに対応するソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。詳細については、59 ページの「Microsoft® ActiveSync® の使い方」を参照してください。

1 お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認して、インストールするソフトウェアのバージョンを決めます。デバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。

a **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。

c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。

2 コンピュータにソフトウェアをダウンロードします（または、ソフトウェアが収録されている CD またはフロッピーディスクをコンピュータに挿入します）。***.xip**、***.exe**、***.zip**、または **Setup.exe** ファイルのいずれかが 1 つ、または異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。

3 インストール方法、readme ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。

4 デバイスをコンピュータに接続します。

5 ***.exe** ファイルをダブルクリックします。

ファイルがインストーラファイルの場合、インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。コンピュータにソフトウェアをインストールすると、インストーラがソフトウェアを自動的にデバイスに転送します。

ファイルがインストーラファイルではない場合、プログラムは有効ですが別のタイプのコンピュータ用です、というエラーメッセージが表示されます。このファイルをデバイスに移動する必要があります。readme ファイルまたはマニュアルにインストール手順が見つからない場合、ActiveSync Explorer を使ってデバイスの **プログラムファイル**フォルダにプログラムファイルをコピーします。ActiveSync を使ったファイルのコピーについては、コンピュータの ActiveSync ヘルプ を参照してください。

インストールの完了後にプログラムを開くには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラムアイコンをタップします。

インターネットからのプログラムのダウンロード

1 お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認して、インストールするソフトウェアのバージョンを決めます。デバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。

a **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。

c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。

2 Pocket Internet Explorer を使って、デバイスにプログラムをダウンロードします。***.xip**、***.exe**、***.zip**、または **Setup.exe** ファイルのいずれかが 1 つ、または異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。

3 インストール方法、readme ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。

4 ***.xip** または ***.exe** などのファイルをタップします。

インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。

プログラムをスタートメニューに追加するには

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **メニュー** をタップし、**スタートメニュー** タブをタップしてから、プログラムのチェックボックスをタップします。

プログラムが一覧に表示されない場合、デバイスのファイルエクスプローラを使って、プログラムを **スタートメニュー** フォルダに移動するか、コンピュータの ActiveSync を使って、プログラムのショートカットを作成し、ショートカットを **スタートメニュー** フォルダに入れます。

デバイスのファイルエクスプローラの使い方

1 **スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、**ファイルエクスプローラ** をタップします。

2 プログラムの場所を確認します。フォルダ一覧（デフォルトで、**My Documents** と名前が付いています）をタップしてから、**マイデバイス** をタップして、デバイス上のすべてのフォルダの一覧を表示します。

3 プログラム名をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **切り取り** をタップします。

4 Windows® フォルダにある **スタートメニュー** フォルダを開きます。

5 画面の空の領域をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **貼り付け** をタップします。

プログラムが **スタートメニュー** に表示されます。ファイルエクスプローラの使い方については、43 ページの「データの検索と整理」を参照してください。

コンピュータでの ActiveSync の使い方

ActiveSync の Explorer を使って、デバイスファイルを参照し、プログラムの場所を確認します。プログラムを右クリックして、**ショートカットの作成** をクリックします。ショートカットを Windows フォルダにある **[スタート] メニュー** フォルダに移動します。ショートカットが **スタート** メニューに表示されます。詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

プログラムの削除

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **システム** タブをタップして、**プログラムの削除** をタップします。

   インストールされているプログラムの一覧に削除するプログラムが表示されない場合、デバイスのファイルエクスプローラを使ってプログラムの場所を確認します。

3 プログラム名をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **削除** をタップします。

8

第 8 章

付属プログラムの使い方

Microsoft Pocket Word

Pocket Excel

MSN Messenger

Pocket PC 用 Windows® Media Player

デバイスに付属しているプログラムには、Microsoft® Pocket Word、Microsoft Pocket Excel、および Pocket PC 用 Windows Media Player が含まれます。

デバイスに付属しているプログラムに切り替えるには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラム名をタップします。

Microsoft Pocket Word

Pocket Word は、コンピュータの Microsoft Word に対応し、文書を簡単に利用することができます。デバイスで新規文書を作成したり、コンピュータからデバイスに文書をコピーできます。コンピュータとデバイス間で文書を同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Pocket Word を使って、手紙、議事録、出張報告書などの文書を作成することができます。新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタン → **プログラム** → **Pocket Word** とタップします。

2 **新規** をタップします。

   新規文書が表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規文書にテンプレートを選択した場合、テキストの入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。



一度に開くことのできる文書は 1 つだけです。2 つ目の文書を開くと、最初の文書を保存するかどうか尋ねられます。Word（**.doc**）、Pocket Word（**.psw**）、Rich Text Format（**.rtf**）および、Plain Text（**.txt**）などの様々な形式のファイルを作成、保存、または編集できます。

Pocket Word には、デバイスに保存されているファイルの一覧が含まれています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ＆ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Pocket Word へのデータ入力には、タイピング、手書き入力、描画、録音の 4 つのモードがあります。これらのモードは、**表示** メニューに表示されます。それぞれのモードに独自のツールバーがあり、コマンドバーの **ツールバーの表示 / 非表示** アイコンをタップして、ツールバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

ズーム倍率を変更するには、**表示** をタップし、**ズーム** をタップしてから希望の倍率を選びます。文字の入力には高い倍率を、文書のより広い部分を表示させるには低い倍率を選びます。

コンピュータで作成した Word 文書を開いている場合、**表示** メニューの **ウィンドウ幅に合わせる** を選んで文書全体を見ることができます。

Pocket Excel

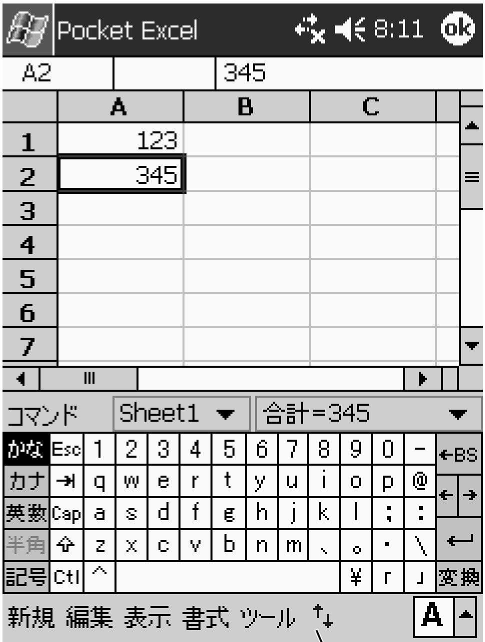
Pocket Excel は、コンピュータの Microsoft Excel に対応し、ワークブックを簡単に利用することができます。デバイスで新規ワークブックを作成したり、コンピュータからデバイスにワークブックをコピーできます。コンピュータとデバイス間でワークブックを同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Pocket Excel を使って、会計報告書や積算距離記録などのワークブックを作成します。新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタン → **プログラム** → **Pocket Excel** とタップします。

2 **新規** をタップします。

   新規ワークブックが表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規ワークブックにテンプレートを選択した場合、テキストの入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。



フォーマット用ツールバーの
表示 / 非表示

一度に開くことのできるワークブックは 1 つだけです。2 つ目のワークブックを開くと、最初の文書を保存するか尋ねられます。Pocket Excel（**.pxl** ）および Excel（**.xls**）などの様々なフォーマットのワークブックの作成、保存、および編集ができます。

Pocket Excel には、デバイスに保存されているファイルの一覧が含まれています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ&ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Pocket Excel には、数式、関数、並べ替え、フィルタなどの基本的な表計算ツールが提供されています。ツールバーを表示するには、**表示** をタップして、**ツールバー** をタップします。

ワークブックに重要な情報が含まれている場合、パスワードで保護できます。パスワードを設定するには、ワークブックを開き、**編集** をタップして、**パスワード** をタップします。ワークブックを開くたびにパスワードの入力が必要ですので、覚えやすく他人に推測されにくいパスワードを選びます。

Pocket Excel での作業上のヒント

以下に、Pocket Excel で大きなワークシートを使って作業する場合のヒントを示します。

- **表示** をタップし、**全画面表示** をタップして、ワークシートのできるだけ広い範囲を表示します。全画面モードを終了するには、**元に戻す** をタップします。
- ウィンドウの構成部分を表示したり非表示にします。**表示** をタップしてから、表示または非表示にする構成部分をタップします。
- ワークシートのウィンドウ枠を固定します。まずウィンドウ枠を固定するセルを選択します。**表示** をタップして、**ウィンドウ枠の固定** をタップします。ワークシートの一番上と一番左のウィンドウ枠を固定すると、シートをスクロールして行と列の名前を表示することもできます。
- ウィンドウを分割して、大きなワークシートの異なる領域を表示します。**表示** をタップして、**分割** をタップします。分割バーを希望の場所にドラッグします。分割を元に戻すには、**表示** をタップして、**分割の解除** をタップします。

- 行と列の表示と非表示を切り替えます。行または列を非表示にするには、非表示にする行や列のセルを選択します。**書式** をタップし、**行** または **列** をタップして、**表示しない** をタップします。非表示の行や列を表示するには、**ツール** をタップし、**ジャンプ** をタップして、非表示の行や列のリファレンスを入力します。次に、**書式** をタップし、**行** または **列** をタップして、**再表示** をタップします。

Pocket Excel の使い方については、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

MSN Messenger

MSN Messenger インスタントメッセージプログラムを使って、以下を実行することができます。

- オンライン中のユーザーの確認
- インスタントメッセージの送受信
- 連絡先グループとのインスタントメッセージ会話

MSN Messenger を利用するには、Microsoft Passport アカウントまたは Microsoft Exchange E メールアカウントが必要です。MSN Messenger Service を利用するには Passport が必要です。Hotmail または MSN アカウントをお持ちの場合、Passport は既にお持ちです。Microsoft Passport または Microsoft Exchange アカウントを取得して、アカウントをセットアップします。

メモ：**www.passport.com** で、Microsoft Passport アカウントを登録します。**www.hotmail.com** で、Microsoft Hotmail E メールアドレスを無料で取得できます。

MSN Messenger に切り替えるには、**スタート** ボタン → **プログラム** → **MSN Messenger** とタップします。

セットアップ

接続する前に、Passport または Exchange アカウント情報を入力する必要があります。

アカウントをセットアップしてサインインするには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタン → **プログラム** → **MSN Messenger** とタップします。

2 **ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

3 **アカウント** タブで、Passport または Exchange アカウント情報を入力します。

4 サインインするには、サインイン画面をタップして、E メールアドレスおよびパスワードを入力します。

連絡先を使った操作

MSN Messenger ウィンドウに、**オンライン** および **オフライン** のカテゴリに分類されたすべてのメッセンジャー連絡先が表示されます。接続中に、このウィンドウでポップアップメニューを利用して、チャット、E メールの送信、連絡先からのチャットのブロック、または一覧からの連絡先の削除がおこなえます。

メモ：コンピュータで既に MSN Messenger をお使いの場合、連絡先は追加しなくてもデバイスに表示されます。

オンラインのユーザーから見られることなく他のユーザーを確認するには、**ツール** → **状態** → **オフライン表示** とタップします。

連絡先をブロックした場合、お客様はオフラインとして表示されますが、ブロックされた連絡先一覧に残ります。連絡先のブロックを解除するには、連絡先をタップ＆ホールドしてから、ポップアップメニューの **禁止解除** をタップします。

連絡先とのチャット

- 連絡先名をタップして、チャットウィンドウを開きます。画面下部のテキスト入力領域にメッセージを入力するか、**マイ テキスト** をタップして、定型文メッセージを入力してから、**送信** をタップします。
- 別の連絡先をマルチユーザーチャットに誘うには、**ツール** をタップし、**招待** をタップしてから、誘う連絡先をタップします。
- チャットを終了せずにメインウィンドウに戻るには、**連絡先** アイコンをタップします。チャットウィンドウに戻るには、**会話** をタップして、チャットをしていた相手を選びます。
- チャットの相手が応答したかを確認するには、テキスト入力領域の下でメッセージを探します。

MSN Messenger の使い方については、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

Pocket PC 用 Windows® Media Player

Pocket PC 用 Windows Media Player を使って、デバイスまたはネットワーク上のデジタルオーディオおよびビデオファイルを再生することができます。Media Player for Pocket PC に切り替えるには、**スタート** ボタン → **プログラム** → **Windows Media** とタップします。

コンピュータの Windows Media Player を使って、デジタルオーディオやビデオファイルを Pocket PC にコピーできます。Pocket PC では、Windows Media および MP3 ファイルを再生できます。

Pocket PC 用 Windows Media Player の使い方については、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

9

第 9 章

Microsoft® Pocket Internet Explorer の使い方

モバイルのお気に入り

モバイルのお気に入りとウェブの閲覧

Pocket Internet Explorer を使ってウェブまたは WAP ページを閲覧することができます。

- コンピュータとの同期化中に、コンピュータの Internet Explorer 内のお気に入りと **モバイルのお気に入り** サブフォルダに保存されているモバイルのお気に入りをダウンロードします。
- ISP（インターネットサービスプロバイダ）またはネットワークに接続して、ウェブを閲覧します。インターネットへの接続については、105 ページの「様々な接続」を参照してください。

デバイスが ISP またはネットワークに接続されたら、ファイルおよびプログラムをインターネットまたはイントラネットからダウンロードできます。

Pocket Internet Explorer に切り替えるには、**スタート** ボタンをタップして、**Internet Explorer** をタップします。

モバイルのお気に入り

コンピュータで Microsoft Internet Explorer 5.0 以降をお使いの場合、お使いのデバイスにモバイルのお気に入りをダウンロードできます。モバイルのお気に入りを同期化すると、デバイスにウェブコンテンツがダウンロードされ、ISP やコンピュータに接続していなくても、ページの閲覧ができます。Microsoft ActiveSync® でインストールした Internet Explorer プラグインを使って、モバイルのお気に入りをすばやく作成できます。

コンピュータにモバイルのお気に入りを作成し、デバイスにダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータで Internet Explorer を開き、**ツール** → **モバイルのお気に入りの作成** とクリックします。
2. リンク名を変更するには、**名前** ボックスに新しい名前を入力します。

3 **更新** の横にあるアップデートスケジュールを指定します（オプション）。

4 **OK** をクリックします。

Internet Explorer がページの最新バージョンをコンピュータにダウンロードします。

5 コンピュータの Internet Explorer で、モバイルのお気に入りを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

6 **ダウンロード** タブで、ダウンロードするレベルの深さを指定します。デバイスのメモリを節約するには、レベルの深さを 1 にします。

7 デバイスとコンピュータを同期化します。

Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** フォルダに保存されているモバイルのお気に入りが、デバイスにダウンロードされます。

手順 3 でアップデートのスケジュールを指定しなかった場合、コンテンツを手動でダウンロードして、コンピュータとデバイスのデータを最新にする必要があります。デバイスと同期化をおこなう前に、コンピュータの Internet Explorer で **ツール** をクリックし、**同期** をクリックします。**最終更新日** コラムの日付は、コンピュータにコンテンツがダウンロードされた最後の日付です。必要に応じて、コンテンツを手動でダウンロードします。

メモ：モバイルのお気に入りを作成するためのアイコンを、Internet Explorer ツールバーに追加できます。コンピュータの Internet Explorer で、**表示** → **ツールバー** とクリックして、**カスタマイズ** をクリックします。

メモリの節約

モバイルのお気に入りは、デバイスのメモリを使用します。メモリ使用量を最小限に抑えるには、以下を実行します。

- 画像や音を切ったり、ActiveSync オプションの **お気に入り** 設定で、デバイスへダウンロードするモバイルのお気に入りの数を制限します。詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。
- ダウンロードするリンクの付いたページ数を制限します。コンピュータの Internet Explorer で、変更するモバイルのお気に入りを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。**ダウンロード** タブで、ダウンロードするリンク付きのページの数を **0** または **1** に設定します。

モバイルのお気に入りフォルダ

コンピュータの Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** サブフォルダ（**お気に入り** フォルダ内）に保存されている項目のみ、デバイスと同期化されます。フォルダは、ActiveSync をインストールする際に、自動的に作成されています。

お気に入りリンク

同期化中に、コンピュータの **モバイルのお気に入り** フォルダにあるお気に入り一覧が、デバイスの Pocket Internet Explorer と同期化されます。コンピュータとデバイスは、同期化するたびにどちらかの一覧に加えられた変更を更新します。モバイルのお気に入りとしてお気に入りリンクにマークを付けない限り、デバイスにはリンクのみがダウンロードされます。コンテンツを閲覧するには、ISP またはネットワークに接続する必要があります。同期化の詳細については、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

モバイルのお気に入りとウェブの閲覧

Pocket Internet Explorer を使って、インターネットに接続せずに、デバイスにダウンロードしたモバイルのお気に入りやチャネルを閲覧できます。ISP やネットワークに接続して、ウェブを閲覧することもできます。



モバイルのお気に入りとチャネルを閲覧するには、次の手順を実行します。

1 お気に入りアイコンをタップして、お気に入り一覧を表示します。

2 閲覧するページをタップします。

最後にコンピュータと同期化した際にダウンロードされたページが表示されます。ページがデバイス上にない場合、お気に入りは暗く表示されます。ページを閲覧するには、コンピュータと再度同期化して、デバイスにページをダウンロードするか、インターネットに接続する必要があります。

インターネットを閲覧するには 105 ページの「様々な接続」で説明するように、**接続** を使って ISP か勤務先のネットワークへの接続をセットアップします。

メモ：お気に入りリンクを追加するには、追加するページに行き、ページをタップ＆ホールドしてから **お気に入りに追加** をタップします。

インターネットに接続して閲覧するには、次の手順を実行します。

- お気に入りアイコンをタップして、閲覧するお気に入りをタップします。
- **表示** をタップして、**アドレスバー** をタップします。画面上部に表示されるアドレスバーで、閲覧するウェブアドレスを入力して、**開始** をタップします。矢印をタップして、以前に入力したアドレスを選択します。

10

第 10 章

様々な接続

赤外線機能の使い方

Wi-Fi (802.11b) の使い方

モデム接続の作成

Ethernet 接続の作成

VPN 接続の作成

接続の終了

メールサーバーに直接接続する

接続できないときは

お使いのデバイスを利用して、他のモバイルデバイス、コンピュータ、ネットワーク、またはインターネットと情報のやり取りをすることができます。以下の接続オプションが利用できます。

- デバイスの IR（赤外線）ポートを使って、2 台のデバイス間でファイルを送受信します。詳細については、「赤外線機能の使い方」を参照してください。
- ご利用の ISP（インターネットサービスプロバイダ）に接続します。接続が確立したら、受信トレイを使って E メールメッセージの送受信をおこなったり、Microsoft® Pocket Internet Explorer を使ってウェブや WAP ページの閲覧ができます。ISP への接続を作成する通信ソフトは、デバイスにプリインストールされています。ポケットベルやファックスサービスなど、その他のサービスをインストールするソフトウェアは、ISP から提供されます。
- 勤務先の会社や団体のネットワークに接続します。接続が確立したら、受信トレイを使って E メールメッセージを送受信したり、Pocket Internet Explorer を使ってウェブや WAP ページを閲覧したり、コンピュータとの同期化ができます。
- コンピュータと接続してリモートで同期化します。接続が確立したら、Pocket Outlook の情報などの同期化ができます。詳細については、コンピュータの Microsoft ActiveSync® ヘルプまたはデバイスの接続のヘルプを参照してください。

赤外線機能の使い方

赤外線機能を使って、連絡先や予定などの情報を 2 台のデバイス間で送受信できます。

データを送信するには、次の手順を実行します。

1. 送信するアイテムを作成したプログラムに切り替え、一覧でアイテムを見つけます。
2. 近い範囲内に障害物がないように、2 台の赤外線センサーの向きを揃えます。
3. アイテムをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューのビームする項目をタップします。

ファイルエクスプローラからアイテム（フォルダを除く）を送信することもできます。送信するアイテムをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **ファイルをビームする** をタップします。

Wi-Fi (802.11b) の使い方

PocketPC 環境でワイヤレスネットワークを設定するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブとタップします。

2 プロファイルを追加、編集、削除するには、**ネットワークアダプタ** をタップします。

3 **ワイヤレスネットワークの設定** 画面で、利用可能なネットワーク名を選択します。

メモ：ネットワーク名が一覧に表示されていない場合、（モバイル）ワイヤレスクライアントステーションで利用する各ワイヤレスネットワークに対して、設定プロファイルを追加する必要があります。異なる設定が必要な複数のネットワーク環境でワイヤレスクライアントステーションをお使いになる場合、各環境に専用のプロファイルを定義することができます。たとえば、本社用、支店用、自宅用、または SOHO ネットワーク用の設定プロファイルを作成することができます。

a ネットワークが一覧に表示されていない場合、**新しい設定の追加** をタップして、ネットワーク名を入力します。ピアツーピア接続の場合、**これはデバイス / コンピュータ間の接続です** のチェックボックスをタップします。

b 暗号化が必要ない接続の場合、**認証** タブをタップします。

- WEP を無効にするには、**データの暗号化 [WEP 有効]** チェックボックスをタップします。
- **ネットワーク認証 [共有モード]** を利用する場合、チェックボックスをタップします。
- **自動的に提供されるキーを使用する** チェックボックスをタップします。

- 暗号化が必要で、キーが自動的に提供される場合、**自動的に提供されるキーを使用する** チェックボックスを選択して、ご自分で暗号化キーを入力することができます。英数字または 16 進数法でキーを入力できます。暗号化キーでは、大文字と小文字は区別されます。正しい暗号化キーについては、LAN 管理者にお問い合わせください。

IEEE 802.1x オプションをお使いの場合、まず認証サーバーに接続されている 802.1x 以外が有効なワイヤレスネットワークから、認証を取得する必要があります。一覧から、802.1x 以外が有効になっているワイヤレスネットワークを選んで設定します。

モデム接続の作成

1 ISP から以下の情報を入手します。

   – ISP ダイヤルアップアクセス用電話番号
   – ユーザー名とパスワード
   – TCP/IP 設定

   ISP によっては、MSN / ユーザー名などのようにユーザー名の前に入力が必要なところもあります。

2 モデムカードを取り付けるか、ヌルモデムケーブルと適切なアダプタを使って、デバイスをシリアルポートを介して外付けモデムに接続します。

3 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** とタップします。

4 **My ISP**（利用している ISP）または **社内ネットワーク設定** で、**新しいモデム接続の追加** をタップします。

5 ISP 接続などの接続名を入力します。

6 **モデムの選択** 一覧から、モデムのタイプを選び、**次へ** をタップします。

お使いのモデムのタイプが表示されない場合、モデムカードを挿入しなおします。ケーブルで接続した外付けモデムをお使いの場合、**COM1 上のヘイズ互換モデム** を選びます。

7 アクセス用の電話番号を入力し、**次へ** をタップします。

8 ユーザー名、パスワード、および必要に応じて、ドメインを入力します。

メモ：**詳細設定** の設定を変更する必要はありません。ほとんどの最近の ISP は、アドレスを動的に割り当てます。

9 接続先の ISP がアドレスを動的に割り当てない場合、**詳細設定** をタップし、**TCP/IP** タブをタップしてから、アドレスを入力します。

10 **次へ** をタップします。

11 他の該当するオプションを選択して、**完了** をタップします。

受信トレイ、Pocket Internet Explorer、または MSN Messenger を開く際に、デバイスが自動的に接続されます。接続後、以下のことが可能です。

- 受信トレイを利用した E メールメッセージの送受信。受信トレイを利用するには、受信トレイとメールサーバーの通信に必要なデータを入力する必要があります。詳細については、114 ページの 「メールサーバーに直接接続する」を参照してください。
- Pocket Internet Explorer を利用したウェブページまたは WAP ページの閲覧。詳細については、99 ページの 「Microsoft® Pocket Internet Explorer の使い方」を参照してください。
- MSN Messenger を利用したインスタントメッセージの送受信。詳細については、95 ページの「MSN Messenger」を参照してください。

Ethernet 接続の作成

1 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。

ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。

2 デバイスにネットワークカードを挿入します。

- ブロードキャスト SSID のあるネットワークが検出された場合、ワイヤレスネットワークアイコン および **新しいネットワークが検出されました** バブルが、ナビゲーションバーに表示されます。手順 3 に進みます。
- ブロードキャスト SSID のあるネットワークが検出されなかった場合、手順 4 に進みます。

3 接続先のネットワークのタイプによって **既定のインターネット設定** または **既定の社内ネットワーク設定** をタップします。デバイスは、ネットワークに自動的に接続します。

メモ：複数のネットワークが検出された場合、接続するネットワークをタップし、**既定のインターネット設定** または **既定の社内ネットワーク設定** をタップして、**接続** をタップします。

4 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** とタップします。

5 **ネットワークアダプタ** アイコンをタップします。

6 **ワイヤレス** タブで、**新しい設定の追加** をタップします。

7 **ネットワーク名** の横に SSID を入力して、インターネットまたは勤務先にネットワークを接続するかを選びます。

8 ネットワークのタイプによって、**認証** タブをタップして、WEP 設定を有効または無効します。

9 **OK** をタップします。

デバイスがネットワークに正常に接続したら、接続ステータスが **ワイヤレスネットワーク** に表示されます。

VPN 接続の作成

1 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** とタップします。

2 **新しい VPN サーバー接続の追加** をタップします。

3 接続名に勤務先名などを入力します。

4 **ホスト名 / IP** フィールドで、VPN サーバー名または IP アドレスを入力します。

5 デバイスで利用する認証タイプによって、**VPN の種類** の横にある **IPSec** または **PPTP** をタップします。

   どちらのオプションを選ぶのかわからない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

6 **次へ** をタップします。

7 ユーザー名、パスワード、および必要に応じて、ドメインを入力します。

8 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。

   ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。

9 デバイスにネットワークカードを挿入します。

   - ブロードキャスト SSID のあるネットワークが検出された場合、ワイヤレスネットワークアイコン および **新しいネットワークが検出されました** バブルがナビゲーションバーに表示されます。手順 10 に進みます。
   - ブロードキャスト SSID のあるネットワークが検出されなかった場合、手順 11 に進みます。

10 **既定のインターネット設定** をタップします。

メモ：複数のネットワークが検出された場合、接続するネットワークをタップし、**既定のインターネット設定** をタップして、**接続** をタップします。

11 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** とタップします。

12 **ネットワークアダプタ** アイコンをタップします。

13 **ワイヤレス** タブで、**新しい設定** をタップします。

14 **ネットワーク名** の横に SSID を入力して、**既定のインターネット設定** をタップします。

15 ネットワークのタイプによって、**認証** タブをタップして、WEP 設定を有効または無効します。

16 **OK** をタップします。

17 ナビゲーションバーに表示される接続アイコン  をタップします。

18 有効にする VPN 接続名をタップします。

接続の終了

接続を切断するには、次の手順を実行します。

- ダイヤルアップまたは VPN を介して接続した場合、ナビゲーションバーの **接続** アイコンをタップして、**切断** をタップします。
- ケーブルまたはクレードルを介して接続した場合、ケーブルまたはクレードルからデバイスを外します。
- 赤外線センサーを介して接続した場合、コンピュータからデバイスを遠ざけます。
- ネットワーク（Ethernet）カードを介して接続した場合、デバイスからカードを取り出します。

メールサーバーに直接接続する

メールサーバーへの接続を設定し、モデムやネットワーク接続とデバイスの受信トレイを使用して、E メールメッセージの送受信ができます。

メモ：ISP またはネットワークに、POP3 または IMAP4 対応のメールサーバーと SMTP ゲートウェイがある必要があります。

複数の E メールサービスを使って、メッセージを受信できます。利用する各メールサービスで、メールサービスをセットアップして名前を付ける必要があります。別のメールボックスに接続するのに同じサービスを使う場合、各メールボックス接続をセットアップして、名前を付けます。

メールサービスをセットアップするには、次の手順を実行します。

1 デバイスの受信トレイで、**アカウント** をタップして、**新しいアカウント** をタップします。

2 電子メールのセットアップウィザードの指示に従います。

詳細については、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップしてください。

メールサーバーに接続するには、**アカウント** をタップして、**接続** をタップします。受信トレイプログラムの使い方については、74 ページの 「受信トレイ」を参照してください。

接続できないときは

接続方法の詳細については、以下を参照してください。

- 74 ページの 「受信トレイ」
- デバイスのオンラインヘルプ。 **スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。**表示** をタップし、**すべてのトピック** をタップして、**受信トレイ** または **接続** をタップします。
- コンピュータの ActiveSync ヘルプ。ActiveSync で、**ヘルプ** をクリックして、**Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。
- トラブルシューティングについては、**www.microsoft.com/japan/mobile/pocketpc/** を参照してください。

11

第 11 章

付録

- 仕様
- 認可機関の情報
- デルへのお問い合わせ
- デル製品の保証および返品について

仕様

システム情報	
プロセッサ	Intel® XScale™ プロセッサ 400 または 300 MHz
メモリ	
RAM	64 または 32 MB SDRAM
ROM	64 または 32 MB Intel® StrataFlash™ ROM
オペレーティングシステム	Microsoft® Pocket PC 2003 Premium

ディスプレイ	
タイプ	QVGA TFT カラー 16 ビット、タッチ対応トランスフレクティブディスプレイ
サイズ	3.5 インチ
解像度	65,536 色で 240 × 320

ボタンおよびライト	
ナビゲーション	5 方向ナビゲーションボタン
スクロールダイヤル	上、下、決定
ボタン：	プログラムボタン 4 種：予定表、連絡先、受信トレイ、ホーム
	電源オン / オフ
	ワイヤレス / Microsoft® Windows® Media Player オン / オフ
	録音ボタン
	リセットボタン

ボタンおよびライト（続き）	
ライト：	同期化 / 通信
	イベント通知
	充電ステータス

拡張スロット	
SD	SD カードスロット（3.3 v）× 1

ポートおよびコネクタ	
赤外線	標準 v1.2 （115 kbps）
クレードル / 同期化コネクタ	26 ピンコネクタ
オーディオ	ステレオヘッドフォンコネクタ

寸法	
サイズ：	
長さ	117.0 mm
	122.4 mm（ワイヤレスアンテナ装着時）
幅	77.2 mm
高さ	14.9 mm
重さ	136.5 g （標準バッテリー搭載時）
	140.4 g （標準バッテリーおよびワイヤレスアンテナ装着時）

オーディオ	
オーディオコントローラ	AC-97 Codec チップ — WM9705 サウンドチップ
ステレオ変換	16 ビットステレオ（サンプルレート — 8.0、11.025、22.05、および 44.1 KHz）
録音	全二重方式録音および再生
マイク / スピーカ	内蔵
ヘッドフォン	ステレオコネクタ

電源装置	
バッテリータイプ：	
メイン	950 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（標準）
	1800 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（オプション）
予備	20 mAh 充電式ニッケル水素ボタン型電池
AC アダプタ：	
供給電圧	100 〜 240 VAC
周波数	50 〜 60 Hz
消費電流	0.4 A
出力電圧	5.4 VDC
出力電流	2.41 A

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ℃ ～ 40 ℃
保管時	– 20 ℃ ～ 60 ℃
温度変化：	
動作時	1 時間当たり最大 15 ℃
保管時	1 時間当たり最大 20 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 % ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 % ～ 95 %（結露しないこと）
高度（最大）：	
動作時	0 ～ 3,048 m
保管時	0 ～ 12,190 m
最大衝撃：	
動作時	200 G
保管時	400 G
最大振動：	
動作時	2.6 GRMS
保管時	3.41 GRMS

認可機関の情報

EMI（電磁波障害）とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータを含む電波放射を目的としないデジタル装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC（電磁的両立性）とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン / オフにすることによって判定できますので、次の方法を 1 つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

さらに詳しいことは、デルのテクニカルサポート担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

Dell™ コンピュータは、下記の使用環境目的に合わせた設計、試験、類別がなされています。これらの電磁環境の類別は、一般に以下の統一定義を表しています。

- クラス A — 主として商工業環境用
- クラス B — 主として住宅環境用

情報技術装置（ITE; Information Technology Equipment）は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力（I/O）装置、モニターなどを含み、コンピュータに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

シールド付き信号ケーブルに関する注意：周辺機器をデル製の周辺機器に接続するにはシールド付きケーブルのみを使用して、無線通信サービスとの干渉の可能性を減らしてください。シールド付きケーブルの使用により、目的とする環境に適した EMC 分類基準を満たします。

大半の Dell コンピュータは、クラス B 環境に分類されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A に分類されることがあります。コンピュータまたは周辺機器の電磁波的分類を確認するには、次項を参照してください。以下の項には、EMC/EMI または製品の安全に関する情報が記載されています。

VCCI 規定（情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定）

大半の Dell コンピュータは、VCCI によりクラス B 情報技術装置（ITE）として類別されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A 情報技術装置に類別されることもあります。情報技術装置は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力（I/O）装置、モニターなどを含み、コンピュータに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別（クラス A またはクラス B）に適合しなければなりません。

お手元のコンピュータにどちらの類別が適用されているかを確認するには、コンピュータの底面、側面、または背面パネルに添付されている VCCI 表示ラベル（「VCCI クラス A 情報技術装置基準のマーク」および「VCCI クラス B 情報技術装置基準のマーク」を参照）をすべて調べてください。VCCI の類別を確認できましたら、次の該当する部分をご覧ください。

クラス B 情報技術装置基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI クラス B 情報技術装置基準のマーク

お使いのコンピュータに貼付されているラベルに次のマークが含まれている場合、お使いのコンピュータはクラス B です。

ワイヤレス規制情報

本 Dell™ Axim™ X3 デバイスは、製品に付属のユーザーマニュアルで説明されているように、製造元の取り扱い説明に基づいて設置および使用する必要があります。お住まいの国の特定の認可については、無線認可を参照してください。無許可で装置に変更を加えた場合、あるいは Dell Inc. が承認していない接続ケーブルや装置に取り換えたり、増設した場合に起こるラジオやテレビへの干渉については、Dell Inc. は一切責任を負いません。このような無許可の変更、取り換え、あるいは増設によって発生した干渉の是正は、ユーザーご自身の責任でおこなうものとします。Dell Inc. および正規再販売業者または販売業者は、ユーザーがこれらのガイドラインに従わないことによって起こる可能性のある損害、または政府規制への違反に対して一切責任を負いません。

日本基準

STD-33 （Ver5.0）、STD-T66 （Ver1.0）

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。

国（都市） 国際電話アクセスコード 国番号 市外局番	部署名または サービス内容 ウェブサイトおよび E メールアドレス	市内番号 市外局番および フリーコール番号
日本（川崎） 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**81** 市外局番：**44**	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
	テクニカルサポート（Axim™）	フリーコール：0120-981-690
	テクニカルサポート（海外から）（Axim）	81-44-556-3468
	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部 （従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部 （従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部 （従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

デル製品の保証および返品について

『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

用語集

802.11（Wi-Fi）— 中距離内にある複数のネットワークデバイスが､お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です｡

Bluetooth™ — 短距離内（10 メートル）にある有効な複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

CompactFlash カード — デバイスの機能を拡張するために使用するリムーバブルカードです｡CompactFlash カードの標準的なタイプに､メモリやワイヤレスカードがあります。

DHCP — dynamic host configuration protocol — ネットワーク管理者がネットワーク内のコンピュータへの IP アドレスの自動的割り当ておよび管理ができる通信プロトコルです。

IMAP — Internet message access protocol — サーバーから E メールにアクセスできるようにする標準のクライアント / サーバープロトコルです。IMAP を使うと､サーバーに E メールを保存したり閲覧することができます。

ISP — Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）— インターネットへの直接接続、E メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスをおこなうためにホストサーバーへのアクセスを提供する会社です｡ISP は通常、ソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有償で提供します。

LAN — local area network（ローカルエリアネットワーク）— 小規模な範囲をカバーするコンピュータネットワークです｡LAN は通常、建物 1 棟または近くにある数棟の建物に限られています｡LAN は電話回線や電波を介して、離れた場所にある別の LAN に接続して､WAN（wide area network）を形成します。

PIM — personal information manager — 予定表、連絡先、受信トレイ、および仕事などの個人情報を保存して整理するプログラムです。

POP3 — post office protocol 3 — サーバーから E メールにアクセスできるようにする標準のクライアント / サーバープロトコルです｡POP3 を使ってメッセージを表示したり参照するには、端末に E メールをダウンロードする必要があります。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）— プログラムの命令やデータを保存する主要な一次記憶領域です｡RAM に保存されている情報は、リセットを実行すると失われます。

RAS — remote access server（リモートアクセスサーバー）— 離れた場所からユーザーがネットワークにアクセスできるようにするサーバーのタイプです。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— デバイスで削除したり書き込めないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM にはリセット後も内容が残ります。デバイスの動作に必要なプログラムの中には、ROM に常駐しているものもあります。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— マイクロプロセッサの最適クロックスピードと同期している DRAM の一種です。

Secure Digital カード — SD カード — デジタルカメラ、ハンドヘルドデバイス、携帯電話、およびその他のデバイスで一般的に使用されているリムーバブルメモリのタイプです。SD カードは、切手とほぼ同じ大きさです。

SMS — short message service — ワイヤレスデバイスに短いメッセージを送信できるサービスです。

SMTP — simple mail transfer protocol — E メールの送受信に利用されるプロトコルです。SMTP は通常、POP3 や IMAP と組み合わせます。

TCP/IP — transmission control protocol/Internet protocol — インターネットで使用される基本的な通信言語です。TCP/IP は、イントラネットやエクストラネットでも通信プロトコルとして利用できます。

USB — universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）— USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンド用デバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮影装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用のハードウェアインタフェースです。デバイスをコンピュータの 4 ピンソケットに直接差し込むか、コンピュータに接続されているマルチポートハブに差し込みます。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っている状態で接続したり接続を解除することができ、デージーチェーン接続することもできます。

VPN — virtual private network — リモートユーザーにネットワークへの安全なアクセスを提供する通信プロトコルのセットです。

WAP — wireless application protocol — ワイヤレスデバイスがインターネットにアクセスする方法の標準です。

クレードル — ハンドヘルドデバイスとコンピュータとの同期化、バッテリーの充電、および AC 電源の利用ができるデバイスです。

シリアルコネクタ — ハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスをコンピュータに接続するのに通常利用される I/O ポートです。

赤外線センサー — ケーブルを使わずにコンピュータと赤外線互換デバイス間でのデータ転送ができるポートです。

同期化 — ある場所にあるファイルを、別の場所から最新のファイルで置き換える自動的なプロセスです。たとえば、コンピュータ上のファイルをハンドヘルドデバイス上のファイルと同期化できます。

同期ケーブル — ハンドヘルドデバイスをコンピュータに接続し、ファイルの転送や同期化に使用するケーブルです。

索引